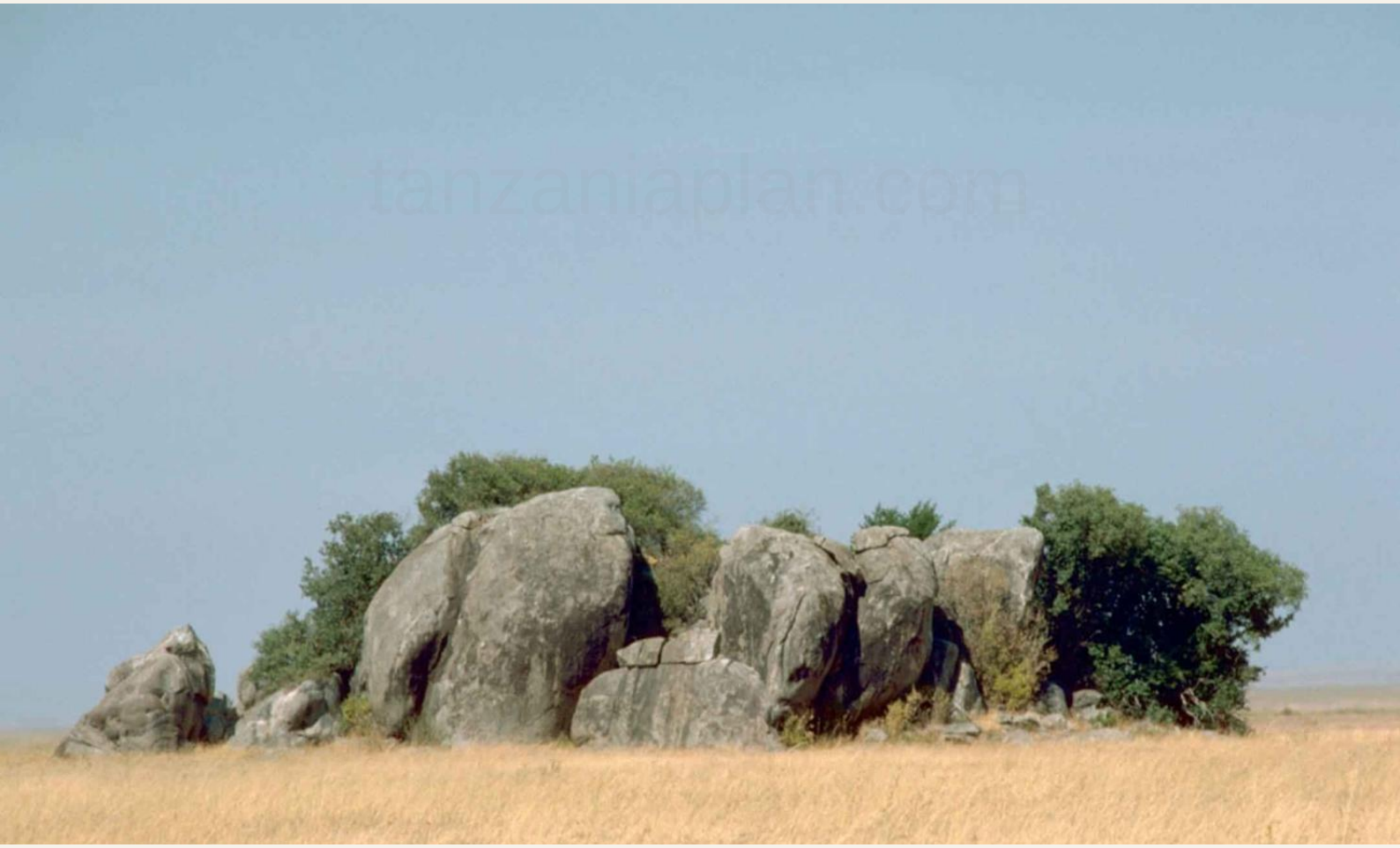
TANZANIA · SAFARI

タンザニア・サファリ完全ガイド

旅の計画から入国準備まで、サファリの疑問に答えます

制作：tanzaniaplan.com



タンザニア、セレンゲティ国立公園の岩丘と草原。撮影：Stolz Gary M, U.S. Fish and Wildlife Service；Wikimedia Commons、public domain。

2026年11月11日改訂

提供：tanzaniaplan.com

目次

サファリは、自然の生息地で野生動物を観察する旅です。このガイドは、タンザニアでガイドと車で巡るサファリを中心に、ザンジバルとキリマンジャロ山の準備も案内します。

まず日程、人数、興味に合うルートを選び、現地のサファリ運営会社、宿、費用を確認しましょう。予約後は、以下の質問を使って書類、服装、装備を準備します。出発前に、最後のチェックリストを同行者と一緒に確認しましょう。

ビザの規則、入国保険、保健要件、フライトは変わることがあります。乗継国、陸路の国境通過、追加の登山も含め、実際の出発日に適用される情報を再確認しましょう。

第1章　旅の計画 3
第2章　運営会社・見積もり・支払い 8
第3章　予算と宿泊 12
第4章　安全と健康 16
第5章　動物の大移動 21
第6章　ビザと交通 23
第7章　服装と持ち物 29
第8章　サファリ中の暮らしと通信 32
第9章　お金・チップ・買い物のマナー 36
第10章　ザンジバルを旅程に加える 39
第11章　キリマンジャロ登山 41
出発前のチェックリスト 46

tanzaniaplan.com

知りたい答えを目次から探すか、旅の計画から順に読み進めて準備に役立ててください。

第1章　旅の計画

1. 初めてのタンザニア旅行では、どこへ行けばよいですか？

初めての訪問で野生動物を見ることが主な目的なら、北部の定番ルート、タランギレ、ンゴロンゴロ・クレーター、セレンゲティから計画しましょう。この3か所を先に決め、マニヤラ湖やアルーシャ国立公園を加えるかを検討します。

セレンゲティは広く、地域間の距離もあります。動物の大移動が主な目的なら、見積もりを依頼する際に旅行する月を伝え、毎晩どの地域に泊まるのかを明記してもらいましょう。「セレンゲティで2泊」だけでは、希望に合うルートか判断できません。

1) 平原、大移動の群れ、その地域に暮らす大型動物を見たいなら、セレンゲティを旅の中心にします。
2) ゾウの群れやバオバブの風景を見たいなら、タランギレを加えます。
3) クレーターの景観と野生動物を楽しむなら、ンゴロンゴロ・クレーターで車による動物観察を計画します。
4) 湖、林、鳥に興味があれば、時間に余裕がある場合にマニヤラ湖を検討します。
5) 到着後に時間が余れば、アルーシャ国立公園への短い日帰り旅行を相談しましょう。公園をもう1か所増やすためだけに、セレンゲティの滞在を削らないでください。

最も見たいものを2つか3つ選びましょう。公園を増やすたびに、移動、宿泊、費用の確認も必要になります。

2. タンザニアには、いつ行くのがよいですか？

タンザニアではさまざまな季節に野生動物を観察できます。唯一の「ベストシーズン」を探すより、出産期、川渡り、一般的な動物観察のどれを重視するかを決めましょう。

通常、6〜10月は乾季、11〜12月は短い雨季、3〜5月は長い雨季です。天候は地域によって異なり、1〜2月にもにわか雨や雷雨があります。旅行中ずっと晴れると考えて荷造りしないでください。

1) 南部の出産期を見たいなら、1〜2月を優先し、ンドゥトゥ周辺や南部の草丈の低い平原に近い宿を相談します。
2) 北部のマラ川での川渡りが主な目的なら、7〜9月を中心に検討します。ただし、群れの位置や川を渡る時刻は降雨によって変わります。
3) 緑の平原、幼い動物、鳥を見たいなら、川渡りだけを軸にせず、草原が緑になる季節も検討します。
4) 3〜5月に旅行する場合は、予約前にキャンプの営業状況、未舗装道路の通行状況、公園内の滑走路の状態を確認します。雨天時の代替ルートも提案してもらいましょう。

5) キリマンジャロ山については、山の季節や登山ルートを登山チームに別途相談します。平原の天候を調べるだけでは、山の準備にはなりません。
6) 乾季にゾウを見たいなら、タランギレを優先し、川の近くで許可された観察ルートを相談します。特定の月に必ず集まると期待せず、最近の目撃情報に合わせて計画を調整します。

旅行する月が決まったら、宿泊する地域も決めましょう。例年の大移動の位置については、後の大移動の章で説明します。

3. 何日くらい必要ですか？

まずタンザニアで過ごす日数と泊数を数え、空港送迎や長距離移動にどれだけ時間がかかるかを確認しましょう。「7日間の旅行」が、丸7日間の動物観察を意味するとは限りません。

初めて北部ルートを回るなら、以下を手がかりに運営会社と相談しましょう。あくまで旅程の提案であり、最終的にはフライト、キャンプの位置、道路状況に合う計画にする必要があります。

1) 約6日間：タランギレ、クレーター、セレンゲティ中央部に絞ります。北部の川渡りエリアを無理に加えるより、セレンゲティで2泊することを目指しましょう。
2) 約8日間：北部の定番ルートに、その季節の重点地域での数泊を加えます。毎日宿を変えず、同じ地域で繰り返し観察する時間を確保しましょう。
3) 約10日間：北部での観察に適した季節なら、セレンゲティ中央部と北部を検討し、長い車移動の1区間を小型機での移動に替えられないか相談します。出産期なら、代わりに南部を中心にできます。
4) ザンジバルで休養するなら、別途3〜5泊を検討します。ビーチで過ごす日はサファリの日数とは別です。
5) キリマンジャロ山を本格的に登るなら、別途、数日間の登山行程に加え、準備と回復のための日数を確保します。

国際線が早朝発なら、前日に公園を出るか、空港近くに泊まりましょう。最後の長距離移動と重要なフライトを、同じ日の余裕のない予定に詰め込まないでください。

4. 子どももサファリに参加できますか？

家族でのサファリは可能ですが、子どもの睡眠、集中していられる時間、健康に合わせて計画し、各キャンプがその年齢の子どもを受け入れるか確認しましょう。動物観察そのものより、長い車移動、早朝出発、頻繁な宿替えが負担になることがあります。

旅行当日の年齢、または生年月の月と年を伝えましょう。ホテル、公園、アクティビティで年齢区分が異なる場合があるので、それぞれの料金を確認します。「子どもは無料」という一般的な説明だけを頼りにしないでください。

1) 子ども全員に座席が割り当てられることを確認し、適切な拘束装置と安全対策を事前に相談します。

2) 長距離移動を減らし、昼食、休憩、トイレの時間を確保します。
3) 同室、追加ベッド、ファミリールーム、子どもの食事、別室の料金を確認します。
4) 気球、徒歩サファリ、その他の活動の年齢・健康条件は個別に確認します。車のサファリに参加できても、すべての活動が適しているとは限りません。
5) キャンプでは大人が子どもを見守ります。部屋の外やテントの周囲で、子どもだけで遊ばせないでください。

柵があっても、見守りは必要です。キャンプの安全説明には、子どもも一緒に参加しましょう。

5. 特別な要望は、いつ運営会社に伝えればよいですか？

到着後ではなく、最初の問い合わせで伝えましょう。菜食、宗教上の食事制限、食物アレルギー、車いすでの利用、背中のけが、冷蔵が必要な薬、ハネムーンや誕生日の予定は、事前に相談します。

健康や移動に関わる要望は、実際に利用するキャンプ、車両提供会社、活動の主催者から具体的な回答をもらいましょう。「手配できます」だけでは不十分です。どう対応するのか、追加費用はあるのか、問題が起きた場合はどうするのかを尋ねます。

1) 食物アレルギー：原因物質と重症度を伝え、調理場で混入をどう防ぐか確認し、緊急時の備えを医師に相談します。
2) 移動に制限がある場合：車の乗降口の高さ、座席、部屋の段差、浴室・トイレの設備、夜間の付き添いを確認します。
3) 背中の不調や車酔い：医師に相談したうえで、移動区間の短縮、休憩、一部の国内線利用を検討します。
4) 冷蔵薬や医療機器：必要な温度、電源、予備の対応を明示し、宿泊施設の確認を得ます。
5) 記念日：日付、内容、料金を確認し、有料の活動を無料サービスだと思い込まないようにします。

重要な回答は旅程や契約の添付資料と一緒に保存し、出発前にもう一度運営会社へ伝えましょう。

6. 北部ルート以外には、どんな旅程がありますか？

川の風景が好きな方や、車以外の方法で野生動物を見たい方は、南部のニエレレとルアハを検討しましょう。ニエレレのルフィジ川水系、湖、ボートサファリでは、違った角度から自然を楽しめます。ルアハでは起伏に富んだ地形、バオバブ、季節によって変わる川の景色が見られます。

ボートや徒歩サファリの実施は、キャンプ、水位、許可に左右されます。南部ルートは、セレンゲティの大移動を別の場所で見るための代案ではありません。公園を変えるなら、大移動への期待も見直す必要があります。

ゴンベでチンパンジーを探すことが目的なら、ガイド、宿泊、交通の接続を別途相談しましょう。主な旅程に加える前に、移動計画の全体を確認します。途中で半日立ち寄る場所ではなく、それ自体を目的とする旅として考えてください。

南部で2つの公園を回るなら、7〜10日間を目安に相談を始めましょう。時間が少なければ、両方を急いで回るより、1つの公園で数泊するほうが手配しやすくなります。

7. 宿はいつ予約し、希望の宿が満室ならどうすればよいですか？

日程と行きたい地域が決まったら、早めに空室を確認しましょう。特定のキャンプ、ファミリールーム、部屋タイプが必要な場合は特に重要です。国際線を確定する前に主要な宿を確認し、フライトとルートを合わせて決めます。早く動けば選択肢は残りやすくなりますが、航空券や宿泊料金が安くなる保証はありません。

以下の順に、提案を正式な予約へ進めましょう。見積もりに例として載っているキャンプは、部屋が確保されているとは限りません。

1) 問い合わせ時：日程、部屋タイプ、変更できる範囲を伝え、その季節の重点地域の宿から確認します。
2) 提案を選ぶとき：各キャンプの正式名称、場所、部屋タイプ、仮押さえの期限、キャンセル条件を確認します。
3) 支払い前：どの支払い・確認手続きで部屋が確保されるかを明らかにし、回答を契約書と一緒に保存します。
4) 満室の場合：同じ地域の代案を、追加の移動や費用も含めて比較します。その後で日程変更や訪問地域の削減を検討し、星の数だけで代替宿を選ばないようにします。
5) 出発前：確定した宿、送迎、特別な要望をすべて確認します。予期しない変更は書面で対応を求めましょう。

Referralに該当する申請者は、入国管理当局の指示に従い、航空券の購入や宿の予約前に承認を得る必要があります。上記の通常の予約手順で、この条件がなくなるわけではありません。

8. 北部ルートを8日間で回ると、どんな旅程になりますか？

ここでは、著者による計画例として、タランギレ、セレンゲティ中央部、クレーターを8日間・7泊で回ります。固定のツアー商品ではなく、移動時間を保証するものでもありません。ザンジバルと本格的な登山は含まず、北部で川渡りを待つ時間も無理に入れていません。

まずフライトの日を数え、連続して観察できる日を確保しましょう。実際のキャンプ間の移動が長すぎる場合は、その日の活動を減らします。すべての移動を動物観察と呼ばないようにしてください。

1) 1日目：JROに到着し、アルーシャへ移動します。休息、荷物の確認、サファリの事前説明を行い、アルーシャ泊です。
2) 2日目：タランギレへ移動して車で動物を観察します。タランギレ周辺泊です。

3) 3日目：タランギレで観察を続けた後、カラトゥへ移動します。カラトゥ泊です。
4) 4日目：セレンゲティ中央部へ移動し、到着時刻に合わせて観察します。セレンゲティ中央部泊です。
5) 5日目：終日、セレンゲティ中央部で観察します。状況に合わせて昼食と休憩を取り、同じキャンプに泊まります。
6) 6日目：さらに観察した後、ンゴロンゴロ高地へ移動します。高地泊です。
7) 7日目：クレーターで車による動物観察をした後、アルーシャまたは空港周辺の適切な宿へ戻り、出発に備えた余裕を確保します。
8) 8日目：出発便に合わせて空港へ移動します。この日に別の公園を訪問できるとは約束しません。

出産期なら南部を中心に、宿泊と行政区域をまたぐ許可を組み直します。北部の川渡りが目的なら、この例に無理に北部を詰め込まず、北部の泊数を増やすか、車移動の1区間をフライトに替えましょう。

9. タンザニアとザンジバルの時刻や言語はどうなっていますか？

タンザニアは年間を通じて東アフリカ時間、EAT（UTC+3）を使い、夏時間はありません。本土とザンジバルの時刻は同じです。携帯電話の世界時計にダルエスサラームを追加し、送迎確認には現地の日付と24時間表記を使うと、日付をまたぐフライトの取り違えを防げます。

日常生活ではスワヒリ語（Kiswahili）が広く使われ、英語も広く使われています。予約時に必要なサービス言語と担当者を明確にしましょう。特定の外国語による説明が含まれると思い込まないでください。

1) 迎え、国内線、活動の時刻には現地の日付と24時間表記を使い、日付をまたぐ移動では到着日を確認します。
2) 別の言語で説明が必要なら、予約時に担当者と対応日を決めます。英語が広く使われていても、通訳が含まれるとは限りません。



タンザニア、タランギレ国立公園の成獣のゾウと子ゾウ。
撮影：John Mackenzie Burke・Wikimedia Commons・CC BY-SA 4.0



タンザニア、タランギレ国立公園のバオバブ。
撮影：Diego Delso・Wikimedia Commons・CC BY-SA 4.0

第2章　運営会社・見積もり・支払い

1. 現地のサファリ運営会社は、どう選べばよいですか？

価格を比較する前に、契約を結ぶ会社、実際に旅行を運営する会社、支払いを受け取る会社の正式な法人名を確認しましょう。魅力的なウェブサイト、好意的な口コミ、業界団体のロゴは、営業許可の代わりにはなりません。

会社の登記書類、納税者番号、旅行する年と提供サービスを対象とする観光事業の営業許可を求めましょう。タンザニアの天然資源・観光担当省の公式サイトで連絡先を自分で調べ、会社名と許可番号を送って、書面で確認を求めます。

1) 許可証の会社名、番号、有効期間、事業区分が契約内容と一致するか確認します。
2) TATO会員と表示している場合は、会員区分を別途確認します。業界団体の会員資格は、政府の営業許可ではありません。
3) 最近の口コミで、宿の変更、車両の状態、返金、必要な言語サービス、フライトの乱れへの対応について具体的な記述を読みます。
4) 外注の有無を確認します。車両、ガイド、活動は誰が提供し、問題が起きたら誰が責任を負うのでしょうか。
5) 多額の支払い前に、会社と許可の確認を済ませます。「最後の1室」と言われても省略しないでください。

営業担当者から渡された番号だけでなく、自分で調べた連絡先を使って確認しましょう。

2. 車両とガイドについて、何を確認すればよいですか？

宣伝写真だけを頼りにせず、実際に配車予定の車について尋ねましょう。四輪駆動、開閉式の屋根、窓側の席、乗客数、荷物のスペースをそれぞれ確認します。

必要な言語について、運転手兼ガイドが直接説明するのか、通訳が同乗するのかを確認しましょう。予定の担当者と短いビデオ通話を行い、ルート、野生動物、緊急時について話したうえで、言語サービスと担当者変更時の条件を書面にします。

1) 車両：実際の車の最近の写真、ナンバープレート、座席配置、乗客数、シートベルト、荷物スペース、整備状況を確認します。
2) 安全：乗客に対する賠償責任保険、通信機器、救急用品、故障時の代替手配を確認します。
3) 備品：双眼鏡の数、毛布、飲料水の保管設備、充電口を確認し、共用のものや別料金のものを尋ねます。
4) ガイド：予定の担当者の名前、ルートの経験、関連する研修、応急手当の備えを確認します。

tanzaniaplan.com

5) 毎日の予定：出発・帰着時刻、観察地域、走行距離の制限、合意した言語サービスが付く日を確認します。

車に救急用品があっても、医療搬送が手配されているとは限りません。両方を別々に確認しましょう。

3. 貸切サファリと混載ツアーは、どう違いますか？

貸切サファリでは、車とガイドが主に自分たちの旅行グループに対応するため、立ち寄りや休憩を希望に合わせやすくなります。混載ツアーでは他の旅行者と同乗し、共通のルート、集合時刻、座席の決まりに従います。

日程、ルート、人数、宿、含まれるサービスをそろえて比較しましょう。人数の多い貸切グループでは車両費を分担できるので、混載が必ず安いとは限りません。

1) 混載の出発：最少・最多人数と、予約が不足した場合に返金、日程変更、追加料金のどれになるか確認します。
2) 座席：全員分の席があるか、窓側か、席を交替するか、カメラ機材をどこに置くか確認します。
3) 宿泊：相部屋か、1人部屋追加料金はいくらか、同行者の到着遅れで出発が遅れる可能性があるか確認します。
4) 時間：初日と最終日の予定、他の参加者を待つか、実際に車で動物観察する日数を確認します。
5) 貸切：車とガイドの専用利用、乗客の追加や車両変更時の対応を契約に明記します。

1人で車を利用する追加料金と、1人部屋の追加料金は別です。それぞれの金額を尋ねましょう。

4. 最初の見積もり依頼には、何を書けばよいですか？

次の情報を複数の運営会社に送り、同じ条件で見積もりを依頼しましょう。総額と公園名の一覧だけでなく、日ごとの旅程を求めます。

1) 出発日、到着日、出国日は…です。日程は…の範囲で変更できます。
2) 大人…人、子ども…人です。旅行時の子どもの年齢は…です。…室が必要で、部屋タイプや追加ベッドの希望は…です。
3) 貸切サファリ／混載ツアーを希望し、主に…を見たいです。長距離移動や宿替えについての許容範囲は…です。
4) タンザニア滞在分の予算は…、通貨は…です。国際線を含むかどうかは別途明記してください。
5) 毎日の空港送迎、車移動、車による動物観察と、全宿泊先の正式名称・地域を記載してください。部屋が仮押さえされているかも明示してください。
6) サービス言語、1台当たりの乗客数、実際の運営会社、食事・移動・薬に関する要望への対応を説明してください。
7) 料金に含むもの・含まないもの、税、諸費用、任意の追加サービスをすべて記載し、支払い、宿の変更、人数減少、キャンセル、返金の条件を提示してください。

8) 見積もりの有効期限、支払先の会社、部屋を確定するための手続きを明示してください。

回答が届いたら、キャンプの位置、泊数、丸1日観察できる日をそろえてから総額を比較しましょう。

5. 支払い前に、契約には何を入れるべきですか？

合意した旅程、名前を指定した宿、車両、言語サービスを契約書または添付資料に入れましょう。支払いの段階も書面で合意し、チャットでの口頭同然の約束を確約と受け取らないようにします。

名称が明記され確定したキャンプと、例示のキャンプを区別しましょう。同等の代替宿かどうかは、星の数だけでなく、地域、公園の内外、追加の移動時間で判断します。

1) 各キャンプの正式名称、場所、部屋タイプ、食事条件、予約確認と、変更に本人の書面での同意が必要かを明記します。
2) 予約金と残金の額、期限、通貨、銀行送金・カード手数料、支払い後に受け取る証明を明記します。
3) キャンセルと人数減少の料金表は日付区分に空白を作らず、控除の基準が予約金か旅行総額かを明記します。
4) 病気、フライト変更、運営会社による中止、不可抗力の条件を分け、返金できない実費も明記します。
5) 返金通貨、控除の根拠資料、着金期限を明記します。
6) 車両故障、道路の閉塞、キャンプの満室、混載の予約不足の代案と、追加費用を誰が負担するかを明記します。

tanzaniaplan.com

別の地域への変更を受け入れられないなら、支払い前に書面で伝えましょう。「同等クラスのホテル」だけでは不十分です。

6. より安全に支払うには、どうすればよいですか？

契約する会社、請求書の発行者、銀行口座の受取人の名前を確認しましょう。確認可能な会社の決済窓口で記録が残る方法を選び、合意した段階ごとに支払い、領収書を保存します。

突然新しい口座情報が届いたら、特に個人口座や見知らぬ第三者の口座の場合は、支払いを止めましょう。会社の従来の公式サイトで連絡先を自分で調べて電話し、説明と承認書類を求めます。

1) 銀行送金前に、通貨、受取人、銀行名、口座番号、送金目的を確認します。
2) カード払い前に、加盟店名、決済通貨、手数料、総額を確認します。
3) 支払いのたびに確認を求め、未払い残高を記録します。
4) 契約書、見積もり、メール、部屋の仮押さえ確認、支払い記録を、手元の端末にも保存します。

5) 紛争が起きたら、銀行や決済会社へ速やかに連絡し、申立ての期限を確認します。旅行から長い時間がたつまで待たないでください。

決済会社に異議申立ての手続きがあっても、お金を取り戻せる保証ではありません。

7. 似た見積もりを、どう比較すればよいですか？

提案を1日ごと、1泊ごとに並べましょう。総額より先に、受けられるサービスを比較します。どちらも「8日間」と書かれていても、観察日が1日増えることと、移動が追加されることは同じではありません。

1) 宿泊：正式名称、地域、公園の内外、泊数、部屋タイプ、食事条件、確定済みか提案段階かを比べます。
2) 車両：貸切か混載か、乗客数、座席、ガイドの言語、1日の走行距離制限を比べます。
3) 時間：到着・出発の送迎、長距離移動、実際の観察日数、追加活動が主目的の時間を削らないかを比べます。
4) 費用：通貨と人数をそろえます。各見積もりに含まれない必須費用を加え、税、1人利用の追加料金、決済手数料を確認します。
5) 条件：宿や車の代替、故障、フライト変更、人数減少、キャンセルを比べます。「同等クラス」でも、望まない地域変更を正当化することにはなりません。

tanzaniaplan.com

選ぶ前に、不足する情報への回答を得ましょう。キャンプや実際の提供会社が明記されていない安い見積もりは、最終比較に進める状態ではありません。



タンザニア、セレンゲティ国立公園で屋根を上げたサファリ車。車両は一例です。

撮影：Güldem Üstün · Wikimedia Commons · CC BY 2.0

第3章　予算と宿泊

1. サファリの予算は、どう分けて考えればよいですか？

グループ全体の費用と、各自が支払う費用を分けましょう。グループ料金の中でも、車1台、人1人、1室、1泊、許可の有効期間ごとのどれで計算されるかを確認します。

すでに含まれる項目を示し、含まれない費用を加えて二重計上を防ぎましょう。ザンジバルと登山の予算は、サファリの1日料金に混ぜず、別に立てます。

1) 車両とスタッフ：車、運転手兼ガイド、燃料、通訳や追加の言語担当者、送迎です。
2) 宿泊と食事：1泊の部屋代、食事条件、1人部屋・追加ベッドの料金、初日と最終日の食事です。
3) 公園・保全費用：個人の入場料、公園の許可料、宿泊に伴う施設利用料やキャンプ料、車両料、クレーター利用料です。
4) 交通：国際線・国内線、追加荷物、空港経由時の宿泊、接続のための送迎です。
5) 個人の費用：ビザ、該当する入国保険、個人の旅行保険、チップ、飲み物、洗濯、買い物です。
6) 活動：気球、徒歩サファリ、夜間の車による観察、文化体験です。移動と必要な許可が含まれるか確認します。
7) 予備費：フライト変更後の追加宿泊、予約変更など、予期しない支出です。

tanzaniaplan.com

各項目の計算方法と税込みかどうかを確認し、総額を自分でも計算しましょう。

2. すべて込みの見積もりでも、なぜ追加費用が発生するのですか？

「すべて込み」は、その見積もりで指定された内容が含まれるという意味で、言葉から想像するすべてを含むとは限りません。除外項目の一覧を求め、毎日の旅程に照らして確認しましょう。

到着・出発前後の宿泊、国内線、通訳や追加の言語担当者、飲み物、洗濯、追加活動は個別に確認します。飲料水、紅茶、コーヒーについては、提供場所と量などの制限も尋ねましょう。

1) 国際線の到着日と出発日に、送迎、宿泊、3食すべてが含まれますか。
2) 公園外の宿では、毎日の往復移動、再入場料、保全区域の通過料金が増えますか。
3) 気球料金には、送迎、朝食、許可、中止時の返金条件が含まれますか。
4) 国内線料金には、税、荷物枠、予約サービス手数料がすべて含まれますか。
5) カード手数料、国際送金手数料、決済時の為替レートで、実際の支払額が変わりますか。
6) キャンプの飲み物、洗濯、部屋付けの料金、特別な食事はどう請求されますか。

すべての項目に税を再び加えないでください。すでに税込みの料金を運営会社に示してもらいましょう。

3. 公園の入場料とクレーターの料金は同じですか？

いいえ。個人の入場料、宿泊に伴う施設利用料、車両の許可料、クレーター利用料は別々にかかる場合があります。ホテルの部屋代に、保護区域内の宿泊関連料金まで含まれるとは限りません。

クレーター利用料、個人の入場料、車両許可料を別々に記載してもらい、出発日に適用される料金情報と、旅行代金に含まれる範囲を確認しましょう。車1台当たりの料金を、さらに乗客数倍しないでください。

各保護区域の許可の時間計算、再入場、宿泊料金の扱いを尋ね、実際の入域・出域時刻に照らしましょう。どこでも同じ規則だと思い込まないでください。

1) すべての保護区域への入域、予定の入域・出域時刻、宿泊場所を一覧にします。
2) 各料金が1人、1台、1回、1泊、許可の有効期間ごとのどれかを尋ねます。
3) 観光せず保全区域を通過する場合も、入域料がかかるか確認します。
4) 旅行時の子どもの年齢を伝え、公園、ホテル、活動の料金を別々に求めます。
5) 旅行日に適用される料金情報を入手し、各項目の税の扱いを確認します。

ンドゥトゥとセレンゲティ国立公園では行政区域が異なります。境界をまたぐルートを地図で示し、費用を説明してもらいましょう。

tanzaniaplan.com

4. どの地域に泊まればよいですか？

部屋タイプや設備を比べる前に、観察したい地域に近い宿を選びましょう。セレンゲティ中央部に泊まっても、北部の川へ毎日通うのは便利ではありません。

セロネラは、セレンゲティ中央部と定住する野生動物を観察する拠点です。南部の出産期ならンドゥトゥとクシニ、北部の季節ならコガテンデ、ラマイ、目的の川の区間に近いキャンプを検討します。動物は日々移動するので、出発前に運営会社へ最新の助言を求めましょう。

1) キャンプの地図上の位置か座標をもらいます。同じ公園というだけでなく、目的の地域にあるか確認します。
2) 主な観察地域までの移動と、毎日長い往復が必要かを尋ねます。
3) クレーターでは、翌日の移動と入域料を考慮し、縁や高地の宿とカラトゥの宿を比べます。
4) 公園外の安い部屋を比べるときは、交通費と許可料も加えます。
5) 季節営業のキャンプは、滞在時の実際の位置と営業日を確認します。通年の宣伝写真だけを頼りにしないでください。

同じ動物を目的に1か所で数泊すると、早朝出発がしやすくなり、荷造りも減ることが一般的です。

5. テント式のキャンプは、設備が簡素ですか？

「テント式」という名称だけで快適さは決まりません。公共キャンプ場、常設のテント式キャンプ、季節ごとに移設するキャンプでは、ベッド、浴室・トイレ、電源、食事が大きく異なります。名前ではなく設備で判断しましょう。

移動式キャンプは季節によって場所が変わります。旅行日の場所を確認し、動物に合わせて毎日移動すると思い込まないでください。

1) 公共キャンプ場：テント、マットレス、寝袋、料理人、洗い場を誰が用意し、トイレが共用かを確認します。
2) 常設テント式キャンプやロッジ：専用の浴室・トイレ、温水の時間、ベッド配置、コンセント、夜間の付き添いを確認します。
3) 季節営業のキャンプ：営業日、その季節の場所、設備、部屋タイプ、予約状況を確認します。
4) 子ども連れや移動に制限がある場合：部屋間の距離、段差、食事場所、助けを呼ぶ方法を尋ねます。
5) 安全説明を聞きましょう。豪華な部屋でも、外を1人で歩き回って安全とは限りません。

「3つ星」「4つ星」「5つ星」という表示だけでなく、具体的な部屋の説明と最近の写真を求めましょう。

tanzaniaplan.com

6. サファリでは何を食べ、特別な食事は手配できますか？

毎日の宿泊と外出時の食事について説明を求めましょう。昼食は弁当、キャンプに戻っての食事、別の場所での食事などがあります。温かい昼食を希望するなら、予約時に伝えます。

菜食、食事制限、子どもの食事、アレルギー対応は、実際の宿泊施設に事前確認してもらいましょう。重いアレルギーがある場合は、遠隔地での緊急時の備えも医師に相談します。

実際の献立例を求め、食べられる洋食・現地料理の主食や代替食品を具体的に伝えましょう。「菜食」だけでは、重いアレルギーやすべての制限は伝わりません。

1) 到着日と出発日を含め、毎日何食が含まれるか確認します。
2) 弁当の場合は、受け取り時刻、飲料水、特別な食事を確認します。
3) 飲料水、清涼飲料、コーヒー、紅茶、酒類が含まれるかを別々に確認します。
4) 水筒用のお湯が必要なら、キャンプと車内での対応を事前に尋ねます。
5) 洗濯料金と回収・返却時刻を確認し、出す前にポケットを空にします。

トイレ休憩を避けるために、意図的に水分を減らさないでください。出発前に、休憩の必要をガイドへ伝えましょう。

7. グループの予算と1人分の負担は、どう計算しますか？

以下の金額はすべて、計算方法を示すための仮の数字です。タンザニアの相場、チップの目安、実際の見積もりではありません。大人4人で、車両、合意した宿と食事、明記された保護区域の料金を含むUS$8,000の貸切サファリを利用すると仮定します。

まず含まれる項目を示し、個人の費用を加えます。部屋、航空券、活動が異なる場合は、すべて均等に割らず、別々に割り当てましょう。

1) 仮のサファリ負担額：8,000 ÷ 4 = 1人US$2,000です。含まれている部屋代や入場料を再び加えません。
2) 仮の各自の航空券、書類、保険：1人US$1,300、グループでは4 × 1,300 = US$5,200です。
3) 仮の共通チップと除外費用：US$600に、予備費US$400を加えます。グループの準備資金は8,000 + 5,200 + 600 + 400 = US$14,200です。
4) 平均の準備額：14,200 ÷ 4 = US$3,550です。予備費は使えるように確保するお金で、すでに使った費用ではありません。後で実際の支出を精算します。
5) 支払い済みと残金を分けます。この仮定を見積もりに流用せず、カード手数料、為替レート、任意の活動を実際の金額で更新します。

8. 飲料水、氷、歯磨き用の水は、どう扱えばよいですか？

tanzaniaplan.com

安全が確認できた飲料水を日中の手荷物に入れ、出発前に、次の補給まで足りるか確認しましょう。由来や処理方法が不明な水と氷は使いません。歯磨きに使う水の安全を確認できなければ、安全が確認された飲料水を使います。

ボトルは毎日洗い、飲み口を給水口に触れさせないようにしましょう。お湯が必要なら事前に手配し、車内で沸かせると思い込まないでください。

1) 出発前に、動物を待つ時間や移動時間も考え、次の補給場所を確認します。
2) トイレを避けるために水分を減らさず、休憩が必要なら早めにガイドへ伝えます。
3) ボトル入りの水は封を確認します。キャンプで補給する場合は、透明さで判断せず、飲料水用の容器や蛇口を確認します。

9. 弁当はどう扱い、食事が合わない場合はどうすればよいですか？

予約時に実際の献立例を求め、洋食、現地料理、または両方なのかを確認しましょう。食べられる主食、たんぱく源、菜食の選択肢を具体的に挙げ、制限を説明し、簡単な代替メニューを合意します。「あっさりした食事」とだけ頼まないようにしましょう。

昼食を受け取る際に、食べる時刻と保管方法を確認します。傷みやすい食品は、暑い車内に1日中置かず、手配された保冷方法で保管します。弁当が条件に合わなければ、出発前に交換を求めましょう。

1) 食前には石けんと安全な水で手を洗います。設備がなければ、適切な携帯用の手洗い・手指清潔用品を使います。

2) 状態やにおいに異常がある食品は食べません。見た目が普通でも、安全に保管された証明にはなりません。
3) 重いアレルギーのある旅行者の弁当を気軽に交換し、合意した食事対応を崩さないでください。
4) 具合が悪ければガイドに伝え、休息と水分補給を調整します。症状が続く、悪化する、その他の重い症状がある場合は、抗菌薬を自己判断で飲むのではなく、医療を受けます。



タンザニア、ンゴロンゴロ・クレーターの平原と湖を高い場所から望む景色。
撮影：Eric Kilby · Wikimedia Commons · CC BY-SA 2.0

tanzaniaplan.com

第4章　安全と健康

1. タンザニアでは、どんな安全上の注意が必要ですか？

都市、島、遠隔地の公園ではリスクが異なります。出発前に、自国政府の渡航情報で実際に訪れる地域を確認しましょう。デモ、集会、突然の騒乱には近づかず、見物や撮影に行かないでください。

アルーシャ、ダルエスサラーム、ザンジバルでは、夜に1人で歩くのを避けましょう。外出や夜のホテルへの帰りには、宿泊施設か信頼できる運営会社に車を手配してもらいます。運転手とナンバープレートを確認し、客引きをする見知らぬ人の車には乗らないでください。

1) できれば高価な宝飾品や時計は自宅に置き、日常の支払い用に多額の現金を持ち歩かないようにします。
2) 書類、予備の現金、日常の支払い用のお金を分けます。公共の場ですべての貴重品を見せないでください。
3) 外出時は部屋に鍵をかけます。貴重品を預ける場合は手続きを確認し、預かり証を保管します。
4) 車を降りるとき、洗濯を出すとき、チェックアウト時には、携帯電話、財布、カメラ、パスポートを確認します。

5) 定番ルート以外、特にモザンビーク国境付近へ行く場合は、まず地域別の渡航情報を確認します。自分で思いつきの立ち寄りを加えないでください。

観光地でも持ち物をしっかり管理しましょう。盗難や強盗に遭ったら、まず危険を離れ、追いかけたり言い争ったりしないでください。

2. 旅行保険は必要ですか？

入国保険と、自分で選ぶより広い範囲の旅行保険を区別しましょう。ザンジバルではZICの入国保険が必要で、個人の旅行保険で代用しないでください。

本土については、NICの公式サイトで自分に適用される要件と申込方法を確認します。本土とザンジバルの両方へ行く場合は、該当する保険会社に全ルート、日付、本人情報を伝え、必要な保険を尋ねましょう。1枚の証明書が両方で使えるとは限りません。

旅程と活動に合う個人の旅行保険を別途選び、病気・事故の治療、緊急搬送、自国への送還、フライトの乱れ、荷物紛失に特に注意しましょう。入国保険に医療や搬送の補償があっても、すべての費用や活動が補償されるとは限りません。

フライトの欠航、遅延、旅行中断、荷物の遅延と紛失は、それぞれの適用条件、待機期間、限度額、必要な証拠を確認します。保険を準備の代わりとせず、緊急時に必要なものを機内持込手荷物に入れましょう。

tanzaniaplan.com

1) 被保険者の氏名、パスポート番号、旅行日、国、実際の活動を確認します。
2) 治療、入院、陸上搬送、捜索救助、航空医療搬送、自国への帰還をそれぞれ確認します。
3) 補償限度額、自己負担額、既往症、対象外の活動を確認します。
4) 24時間対応の支援番号、事前承認の手順、自分で立て替える費用を確認します。
5) 登山では実際の標高とルートを伝え、ヘリコプター救助と高所での活動を別々に確認します。

会社の賠償責任保険、入国保険、自分の医療搬送補償は別の保険です。それぞれ確認しましょう。

3. 本土とザンジバルの入国保険は、どう購入しますか？

本土の入国保険にはNICの公式サイトがあり、ザンジバルのZICは政府の観光サイトから利用できます。国境で並んでいるときまで後回しにせず、必要書類を事前に確認し、該当する保険を購入して証明書を保存しましょう。

自分に適用される価格、補償の開始日と終了日、約款を確認します。本土とザンジバルは別々に調べ、一方の価格や補償期間からもう一方を推測しないでください。

両方を訪れる場合、長期滞在する場合、出国後に再入国する場合は、該当する保険会社に全日程、ルート、本人情報を伝えます。どの保険が必要で、それぞれ旅のどの部分を補償するか尋ねましょう。

1) 本土の申込先：https://inbound.nicinsurance.co.tz/apply.
2) ザンジバルの申込先：https://inbound.visitzanzibar.go.tz/.

3) 送信前に、実際の入国地点、身分・資格、氏名、パスポート番号、旅行日を確認します。
4) 証明書をダウンロードし、紙と携帯電話内の両方に保存します。支払い画面の画像だけでは不十分です。
5) 入国保険の保険金請求・支援番号と、個人の旅行保険の支援番号を区別して記録します。

免除、長期滞在、複数回の入国については、まず実際の身分・資格と旅程に適用される要件を保険会社に確認してもらいましょう。

4. 黄熱ワクチンと国際予防接種証明書は必要ですか？

「黄色い手帳」は、予防接種または予防措置の国際証明書です。黄熱の要件はパスポートの国籍ではなく、出発地、乗継地と時間、年齢、健康状態で決まります。全ルートで黄熱リスク国を通らない場合、タンザニアに行くことだけを理由に接種が必須になるわけではありません。

本土の保健省通知では、リスク国からの到着と、リスク国で12時間以上乗り継ぐ場合が対象です。年齢による免除として、1歳未満の子どもと60歳を超える旅行者が記載されています。

ザンジバルを含む渡航医療情報では、1歳以上の旅行者がリスク国から到着する場合、またはリスク国の空港で12時間を超えて乗り継ぐ場合に、証明書が必要です。本土の60歳超の免除を、ザンジバルにも自動的に当てはめないでください。リスク国での空港乗継がちょうど12時間で、ザンジバルへ入る場合は、出発前にザンジバルの入国時の保健担当当局へ指示を求めましょう。医学的免除は資格のある医療者に評価してもらい、入国先の保健当局に必要書類を確認します。

初回の黄熱ワクチン接種後、証明書は接種の10日後から有効となり、生涯有効です。適正な旧証明書に10年の有効期限が印刷されていても、生涯有効です。自分で書き換えないでください。

1) 自国で、資格のある渡航医療の専門家または認可された黄熱予防接種施設の相談を予約します。
2) 全ルート、乗継時間、既存の接種証明書、健康情報を持参します。
3) 初回接種後の10日間の待機を日程に織り込みます。
4) 妊娠、乳児、重いアレルギー、禁忌、医学的免除は資格のある医療者に評価してもらいます。本土では、認められた医学的免除について到着時に医学的証拠が必要です。既存の証明書も相談に持参します。

遅延、乗継空港の外への移動、近隣国の追加があれば、証明書の要件を再確認しましょう。全旅程と該当する証拠を手元に保管します。

5. ほかに、どんな予防接種や薬の準備が必要ですか？

できれば出発の少なくとも8週間前に、自国で渡航医療相談を予約しましょう。直前に決まった旅でも、速やかに相談します。全フライトと乗継時間、すべての滞在地域、ザンジバルや登山の追加予定、接種記録、年齢、妊娠の有無、病歴、常用薬を伝えます。入国証明書の要件と、自分に適した接種、マラリア予防、薬を分けて判断してもらいましょう。

医師は、定期接種、麻疹、腸チフス、狂犬病にさらされるリスク、ポリオの追加接種の必要性などを評価できます。推奨される接種と、入国に必要な証明書は別です。

薬は自分の必要に合わせて準備します。持ち物一覧にあるという理由だけで、抗菌薬、下痢止め、高山病の薬を飲むと決めないでください。

1) 常用の処方薬を旅行分と妥当な予備分用意し、元の包装と必要書類を保ちます。
2) 預け荷物が遅れても困らないよう、不可欠な薬は機内持込手荷物に入れます。
3) 冷蔵薬や医療機器は、航空会社、運営会社、キャンプに適切な対応を事前確認してもらいます。
4) 医師や薬剤師の助言に従い、解熱鎮痛薬、アレルギー薬、水分補給用品、基本的な傷の手当用品を用意します。
5) 子ども、妊娠中の旅行者、持病のある方は、別の成人の服薬計画をそのまま使わないでください。

直前の旅行でも、できるだけ早く相談しましょう。出発まで8週間未満でも、健康の準備を省く理由にはなりません。

6. マラリア、蚊、ツェツェバエには、どう備えますか？

タンザニアの標高1,800メートル未満の地域には、マラリア感染のリスクがあります。ザンジバルでも対策が必要です。ルートに応じて予防薬の処方が必要か、医師に判断してもらいましょう。薬を飲んでも、虫刺され予防は必要です。

自分に適した虫よけを表示どおりに使い、長袖、長ズボン、靴下を着用します。就寝前に網戸や蚊帳を確認し、破れや蚊帳の裾も点検しましょう。

ツェツェバエに刺されると痛むことがあります。明るい色の長袖と長ズボンを選び、濃紺と黒を避けましょう。ハエが多い地域では、窓を閉めるなどガイドの指示に従います。どの公園や平原にも虫が全くいないと思い込まないでください。

1) 到着してから対策がないと気づくことのないよう、予約時に網戸、冷房、蚊帳を確認します。
2) 防虫加工された衣類や用品は説明に従います。ペルメトリンを肌に直接塗らないでください。
3) 刺された後に強い腫れ、感染の兆候、呼吸困難、発熱があれば医療を受けます。
4) 旅行中や帰国後に発熱したら、タンザニアを訪れたこと、地域、日付を速やかに医師へ伝えます。
5) 車内で過ごす時間が多くても、毎日日差し対策と水分補給を行います。

強い症状を清涼感のある塗り薬だけで済ませたり、ハエの数から大移動の場所を判断したりしないでください。

7. 出発前に、ほかにどんな保健手続きを確認しますか？

出発が近づいたら、全乗継地と以前に訪れた国も含め、自分の旅程に必要な健康申告や検査・確認を航空会社と国境の保健当局に尋ねましょう。ルートに合う指示を受け、必要な情報を準備します。

オンラインの健康申告が必要なら、航空会社や国境職員の指示に従い、保健当局のシステムを使って提出時期を確認します。特定の病気のスクリーニングがあるからといって、全員が同じ臨床検査を受けるとは限りません。

1) 帰国・次の目的地への移動、乗継、旅行中に訪れる他国も含めて確認します。
2) 事前に健康申告書が必要か尋ね、提出確認を保存します。
3) 発熱など明らかな症状があれば、まず医師と航空会社に相談し、隠さないでください。
4) ルートが変わったら、ビザや送迎だけでなく、保健要件も再確認します。

接種と薬の相談は、資格のある渡航医療の専門家に行いましょう。航空会社の確認は、医学的評価の代わりにはなりません。

8. 病気、強盗、書類紛失の際は、どうすればよいですか？

出発前に、自国政府によるタンザニアと乗継国の渡航情報を読みましょう。自国の大使館、領事館、または領事支援を担当する在外公館の連絡先を保存します。緊急連絡カードには、氏名、重要なアレルギーや持病、家族の連絡先、現在の宿と運営会社、保険会社の24時間支援番号と証券番号、自国の領事連絡先を記載します。紙と携帯電話内に保存し、同行者にも場所を伝えましょう。

救急車は112に電話します。ガイドやキャンプにも、正確な場所、症状、差し迫った危険を伝えましょう。自分の保険会社の支援窓口へ速やかに連絡しますが、承認待ちで命を救う治療を遅らせないでください。遠隔地での医療紹介や搬送には専門家の調整が必要で、救急用品があるだけでは搬送手配になりません。

強盗やパスポート紛失の後は、安全な場所へ移動し、警察に届けて記録を入手したうえで、自国の大使館、領事館、担当の在外公館へ連絡し、パスポートの再発行や緊急渡航書類を求めます。原本と別に保管したパスポートの写し、本人確認資料、旅程を使いましょう。移動を続ける前に、新しい書類に必要な乗継、次の国への入国、タンザニア出国の手続きを整えます。パスポートの写真だけでは搭乗できません。

1) 医療緊急時：112に電話し、救急車を求めます。
2) 自国の大使館または担当の在外公館：公式の緊急連絡先を出発前に保存します。
3) 保険会社：24時間支援番号と証券番号を保存します。
4) 運営会社と宿：現在使える電話番号と宿泊場所を保存します。
5) 警察の記録、医療記録、請求書、損失の証拠を保管します。
6) 警察：111または112です。

紙の緊急連絡カードと書類の予備をどこに保管しているか、同行者にも伝えましょう。

第5章　動物の大移動

1. 動物の大移動とは何ですか？

大移動は、タンザニアとケニアにまたがるセレンゲティの生態系で起こります。ヌー、シマウマなどの草食動物が、雨、水、新しい草を追い、移動しながら食べ、繁殖し、途中で川を渡ります。

年に1度の川渡りショーではありません。開けた平原の群れ、幼い動物、移動する動物、川岸で待つ群れなど、月ごとに異なる姿が見られます。

川渡りだけが目的なら、運営会社に明確に伝えましょう。群れや幼い動物により魅力を感じるなら、南部の出産期を検討します。

2. 月ごとに、どの地域を中心にすればよいですか？

以下は地域選びの参考になる例年の季節的な移動傾向で、今年の群れの位置を予報するものではありません。予約時と出発前に、雨や最近の目撃情報を踏まえて助言を調整してもらいましょう。

1) 12〜1月：群れはンドゥトゥやクシニ周辺の南部の草丈の低い平原に集まることが多く、12月にはセレンゲティ中央部からロボまで広がっている場合もあります。
2) 1〜2月：南部の出産を見る重要な時期で、例年は2月がピークになることが多いです。
3) 3月：群れが南部に残り、出産期の終盤を見られる場合があります。雷雨にも備えましょう。
4) 4〜5月：群れは南部からセレンゲティ中央部と西部回廊へ、徐々に移動することが多いです。
5) 6月：グルメティと北上の兆候に注目します。
6) 7〜9月：北部のコガテンデ、ラマイ、マラ川周辺を中心にします。動物がケニア側にいる場合もあります。
7) 10月：南下がよく見られますが、進み方は年によって異なります。
8) 11月：ロボを通り、セレンゲティ中央部から南部へ戻る動きに注目します。

グルメティ川とマラ川は別の場所です。旅程に「川渡り」とある場合、どちらの川なのか尋ねましょう。

3. 北部に数泊すれば、必ず川渡りを見られますか？

いいえ。動物が川岸に集まっても、長く待った後に引き返すことがあります。別の区間で渡る場合もあります。

川渡りを優先するなら、該当する北部地域に連泊すると、ガイドが状況に合わせて動き、待つ時間を確保できます。目撃保証に追加料金を払ったり、動物の進路をふさぐ、危険な位置へ車を詰めるよう運転手に求めたりしないでください。

1) 宿が実際に北部の目的地域にあるか確認し、中央部のキャンプで代用されていないか確かめます。

2) 毎日、現在の状況に合わせてガイドに計画してもらいます。古い写真では今日の群れの位置は分かりません。
3) 待機に備え、水、日差し対策、待つ心構えを用意し、昼食とトイレを事前に相談します。
4) 途中の定住する動物や行動にも目を向けましょう。旅全体を1度の川渡りに賭けないでください。

動物は両国を行き来し、どちらの方向にも川を渡ります。往路と復路の川渡りに、決まった時刻表があると考えないでください。

4. ンドゥトゥは、セレンゲティ国立公園の一部ですか？

ンドゥトゥの平原は、南部セレンゲティ平原の端にあるンゴロンゴロ保全地域内に位置します。生態系の名前と国立公園の境界は同じではありません。

キャンプの位置、観察地域、境界をまたぐルートを示し、それぞれの許可と料金を説明してもらいましょう。セレンゲティ国立公園の入場許可で、ンドゥトゥの全域が対象になるとは限りません。

1) 毎晩のキャンプがどの行政区域に属するか確認します。
2) 毎日の車移動で行政境界をまたぐか、見積もりにどう反映されるか確認します。
3) 営業担当者が道路外での観察を案内する場合は、どの地域でどの許可により可能なのか尋ねます。自由に道路を離れるよう運転手に頼まないでください。

tanzaniaplan.com

動物が境界を越えても、観光車両の許可制限がなくなるわけではありません。



タンザニア、セレンゲティ国立公園で移動するヌーの群れを空から撮影。
撮影：Daniel Rosengren · Wikimedia Commons · CC BY 4.0

第6章　ビザと交通

1. 観光には、どのビザが必要ですか？

今回使うパスポートの国籍を基準に、タンザニア入国管理当局のビザ免除、eVisa・到着時ビザ、Referralの区分を確認しましょう。居住国や出発空港で区分が決まるわけではありません。ケニア、ウガンダ、ルワンダ、南アフリカの国民は、ビザ免除の例です。英国、カナダ、オーストラリアのパスポート所持者は、英連邦の加盟国だから免除されると思い込まないでください。米国人の観光ビザには別の規則があります。

ビザが必要で、Ordinary区分の対象となる米国籍以外の観光客は、1回入国の手数料がUS$50、有効期間は最長90日です。米国パスポート所持者は、観光で1度訪れるだけでもMultiple　Entryビザを申請する必要があります。料金はUS$100、有効期間は最長1年、1回の連続滞在は最長90日です。ビザの有効期間と、国境で認められる滞在期間は同じではありません。

当局の到着時ビザ対象リストにある旅行者は、オンライン申請または正式な入国地点での取得が可能ですが、当局はオンライン申請を推奨しています。Referral対象者、無国籍者、難民の身分で渡航する方は事前承認が必要で、通常の到着時ビザを頼りにしてはいけません。Referralの場合は少なくとも2か月前に申請し、航空券購入や宿の予約は承認後に行います。購入済みの航空券の代わりに旅程を提出でき、現地受入先の詳細と、入国管理総局長宛ての招待状または申請書簡を添えます。

到着時ビザを利用するなら、出発前に自分の資格、実際の入国地点の手続き、書類、支払方法を確認します。書類をすぐ出せるようにし、職員の指示に従い、許可された滞在期間を確認しましょう。支払っても入国が認められるとは限りません。迎えの担当者に待ち時間の可能性を伝え、入国手続きの終了時刻が固定であることを前提に活動を入れず、見知らぬ人へパスポートを渡さないでください。

短いサファリやビーチ休暇に通過ビザを使わないでください。通過ビザは、他国へ向かう途中でタンザニアに入国するためだけのものです。料金はUS$30、滞在は最長7日で、目的国のビザおよび／または次の航空券が必要です。空港の国際線乗継区域にとどまることと、通過ビザでタンザニアへ入国することは異なります。空港で乗り継ぐ全員に、この7日間のビザが必要なわけではありません。

同じタンザニアのビザで本土とザンジバルの両方を訪れられ、両者間の移動に別のビザは不要です。申請では実際の最初の目的地を選びます。ビザの対象範囲と義務となる入国保険は別の問題で、一方から他方の範囲を判断することはできません。

1) 公式eVisaサイト：https://visa.immigration.go.tz/.

ビザ免除でも、ほかの入国条件は残ります。ビザが必要な旅行者は、子どもも含め、それぞれ自分の渡航書類に合う区分で申請します。

2. eVisaはいつ申請し、何が必要ですか？

申請前に、パスポートには少なくとも6か月の有効期間と、未使用のビザページ1ページが必要です。到着日からも少なくとも6か月有効でなければなりません。必要なら先に更新し、実際に使うパスポート番号で申請します。ビザが必要な旅行者は、子どもも含め1人ずつ申請します。

パスポートの身分事項ページ、カラーの証明写真、帰りの航空券、オンライン申請と申告、手数料を準備します。写真はJPGまたはJPEG形式、500KB以下です。当局は、最大縦45mm・横35mm、無地の背景、顔がはっきり写る正面写真を指定しています。公式eVisaサイトを使い、申請番号を保存し、承認通知をダウンロードしましょう。紙と携帯電話内の両方に保存します。

当局はReferral以外の申請について、処理期間を10日としています。出発前の最後の10日間だけに頼らず、書類がそろったら申請し、追加情報を求められる時間を見込み、承認通知を待ってから渡航しましょう。支払いの領収書は承認ではありません。帰りの航空券と旅程を持参します。ビザ承認も、国境での入国を保証するものではありません。

1) 氏名、生年月日、国籍、パスポート番号をパスポートと照合します。
2) 申請番号を保存し、公式サイトで進捗を確認します。
3) 実際の最初の目的地、入国日、確定した宿の詳細を使います。
4) 初日の宿の正式名称、場所、電話番号をすぐ出せるようにします。照会番号で申請を追跡し、通知が届いたら氏名、渡航書類番号、承認内容を確認します。

tanzaniaplan.com

公表された処理期間は、個々の申請の承認を保証するものではありません。

3. 入出国時に、どの書類を手元に置けばよいですか？

パスポート、ビザ承認通知、帰国・次の目的地への航空券、該当する保険証明書、健康関連書類は機内持込手荷物に入れます。宿の住所、運営会社の連絡先、日ごとの旅程もすぐ見つかるようにしましょう。

国境で用紙の記入が必要なら、その場で渡された版を使います。氏名、出生情報、国籍、パスポート情報は渡航書類のとおりに記入し、実際の職業と現在の居住国を書きます。便名は、実際に入国・出国する区間のものを使います。

1) 指定があれば英字の大文字で記入し、日付を確認して自分で署名します。
2) タンザニアの住所には、確定したホテルまたは受入団体の名称、場所、連絡先を記入します。
3) 渡航目的は現在の用紙の選択肢から選びます。他人の数字コードを写さないでください。
4) 出国用紙が必要なら、実際の泊数、宿泊地、次の目的地の都市と国を用意します。
5) 陸路入国では、実際の国境検問所のビザ手続き、開所状況、保健要件を事前に尋ねます。

原本と予備の写しは別に保管しましょう。個人情報がすべて載った画面の画像を公開しないでください。

4. どの空港に到着するのがよいですか？

国際線を購入する前に、ルートに合う到着・出発空港を運営会社に確認してもらいましょう。北部ルートではキリマンジャロ国際空港（JRO）がよく使われます。ダルエスサラーム（DAR）は南部ルートや本土内の接続、ザンジバル（ZNZ）は島の旅程に適している場合があります。

アルーシャ空港（ARK）とキリマンジャロ国際空港（JRO）は別の空港です。公園への小型機では滑走路も確認しましょう。中央部のセロネラと北部のコガテンデは代用できません。

1) JRO：アルーシャとモシの間にあるキリマンジャロ国際空港で、北部ルートへの接続に使います。
2) ARK：北部ルートの小型機便が発着するアルーシャ空港です。JROへは別途送迎が必要です。
3) DAR：ダルエスサラームのジュリウス・ニエレレ国際空港で、南部ルートや国内線の接続に使います。
4) ZNZ：ウングジャ島にあるザンジバルのアベイド・アマニ・カルメ空港です。
5) 見積もり依頼や送迎確認には、「アルーシャで迎え」だけでなく、空港コード、便名、ターミナル、日付を記載します。

どの国から出発する場合も、総移動時間、乗継、黄熱の条件、最初の入国地点を合わせて比べましょう。

tanzaniaplan.com

5. 車で移動するか、小型機を使うか、どう決めますか？

車なら途中の公園をつないで回れますが、公園内の未舗装道路は、揺れ、ぬかるみ、砂ぼこりがあることがあります。長い移動中に動物を見られる場合もありますが、それでも何時間も車内で過ごすことになります。

北部の季節限定の観察地域が目的、時間が少ない、長く揺れる移動が体に合わない場合は、1区間を国内線に替えることを相談しましょう。便名だけでなく、航空券、滑走路、キャンプへの送迎、荷物の扱いを確認します。

1) 毎日の車移動と実際の動物観察を分けます。両方を「終日動物観察」と記載しないようにします。
2) 実際のキャンプ間の移動計画を、休憩、昼食、許可手続きの時間も含めて尋ねます。
3) 具合が悪ければ速やかにガイドに伝え、健康上の懸念があれば予約前に医師に相談します。
4) 小型機は途中で立ち寄る場合があります。実際の航空会社、到着滑走路、送迎会社を確認します。
5) 雨で道路や滑走路に影響が出た場合の代案と追加宿泊を、事前に合意します。

重要な帰国の国際線の前には、1泊の余裕を検討しましょう。別々の航空券で、公園からの便と国際線を極端に短い乗継時間でつなぐのは避けてください。

6. 国内線の荷物制限は、どうなっていますか？

実際の航空会社に、自分のルートと運賃の許容量を確認しましょう。小型機では、預け荷物、機内持込品、カメラ、ノートパソコン、双眼鏡を合算する場合があります。主なバッグだけを量らないでください。

以下の3社の標準規定を荷造りの出発点にし、予約時に自分の航空券を確認します。柔らかいバッグは収納しやすいものの、全航空会社が硬いケースを拒否するという説明は正確ではありません。

1) Coastal：標準の総許容量は機内持込品を含め1人15 kgです。規定では、柔らかいバッグは40 × 40 × 80 cm、小型の硬いケースは76 × 48 × 29 cmと記載されています。
2) Auric：手荷物、カメラ、身の回り品を含め1人合計20 kgです。各荷物は90 × 65 × 35 cm以下で、柔らかいバッグが推奨されています。
3) Air Excel：定期便は預け荷物、手荷物、機材を含め1人合計20 kgです。柔らかいバッグが強く推奨されています。
4) 超過する場合：発券前に追加荷物、追加座席、その他の方法を依頼し、収納場所と搭載重量の制限を確認します。支払っても、超過荷物がその日の同じ便で運ばれる保証はありません。
5) 国際線と小型機の許容量は別々に確認します。最も厳しい区間に合わせて詰め、買い物分の重量も残します。

ビーチ用の荷物を預けるなら、場所、料金、受取時刻、回収方法を確認しましょう。ホテルが無料で預かるとは限りません。

7. フライトが遅延・欠航したら、まず誰に連絡しますか？

まず航空会社に新しい便名、空港、日付、時刻を確認し、同時に運営会社、送迎会社、後の宿へ知らせましょう。予約時には、更新情報を受け取れるメールアドレスと電話番号を伝えます。

予約変更、追加宿泊、送迎、使えなかったサービスは、航空券、契約、保険の条件に従って扱います。旅行者か運営会社のどちらかが、すべての費用を負担すると決めつけないでください。

1) 関係するすべての送迎担当者へ新しい便の情報を送り、受信と手配変更の確認を得ます。
2) 新しい乗継で黄熱などの保健要件が変わるか確認します。
3) 後の国内線を自分から予約変更する必要があるか確認し、空港が対応するのをただ待たないようにします。
4) 運航変更の通知、元の航空券、請求書、未利用サービスの証拠を保管します。
5) 代替航空券や追加の宿を買う前に、航空会社、運営会社、保険の支援窓口へ手順を確認します。
6) 発券前に、空港税などすべての税が含まれるか確認します。

その日のうちに接続できなければ、まず宿と安全な移動手段を確保しましょう。旅程を守るために、公園から夜の長距離移動を急いで手配しないでください。

8. 入国・出国用紙の各欄には、何を書けばよいですか？

用紙が必要なら、その国境で渡される版を使い、日付形式と英字大文字の指示に従います。古い用紙は情報を準備する参考にはなりますが、現在もすべての国境で同じ用紙を使う証拠にはなりません。

1) Surnameは姓、Other namesは名です。氏名全体の順番をそのまま写すのではなく、パスポートの各欄に合わせます。
2) Date of birthは生年月日、Place of birthは渡航書類に記載された出生地で、国籍や現住所ではありません。Gender/Sexは書類と用紙の選択肢に従って記入します。
3) Nationalityは国籍、Country of current residenceは現在住んでいる国、Occupationは実際の職業や身分です。
4) Passport No.は渡航書類番号です。Date of issue、Place of issue、Date of expiryはそれぞれ発行日、発行地、有効期限です。発行日と有効期限を逆にしないでください。
5) タンザニアの住所には、確定したホテル名、場所、電話、受入先の連絡先や団体名を使います。初日の宿の確認書を手元に置きましょう。
6) Purpose of travelは現在の選択肢から実際の渡航目的を選びます。Any otherは該当する場合だけ記入し、古い観光用数字コードを写さないでください。
7) Flight/Vessel No.は実際の入国・出国区間の便名・船舶番号です。Mode of travelでは、該当するAir（空路）、Water（水路）、Rail（鉄道）、Road（道路）を選びます。該当しない欄は職員の指示に従います。
8) 出国時に求められたら、タンザニアでの実際の泊数、宿泊地、次の目的地の都市と国を記入します。最後に日付と自分の署名を入れます。

9. 到着時にネットが使えなくても、迎えを見つけられますか？

出発前に、集合場所の案内、運転手の名前とナンバープレート、運営会社の予備の連絡先、ホテルの住所を保存します。機内モードでも開けるか試しましょう。見つからない場合に待つ場所を事前に決め、着陸後のメッセージだけに頼らないようにします。

1) 入国手続き後、案内と迎えの表示を照合し、相手を確認してからついて行きます。名前を知っているだけで、パスポートを渡したり車に乗ったりしてはいけません。
2) 迎えがいなければ、合意した安全な場所にとどまり、空港職員に保存した番号への連絡を手伝ってもらいます。運転手を探すと申し出る見知らぬ人について行かないでください。
3) 同行者にも各自の写しを渡し、1台の携帯電話が唯一の連絡手段にならないようにします。
4) 到着報告の方法と、連絡が取れない場合に家族が誰へ連絡するかを決めます。遠隔地ではすぐ返事ができないことも伝えましょう。

10. 車酔いや背中の痛みがある場合、車移動をどう計画しますか？

最初の問い合わせで、連続して乗れる時間の上限を伝えましょう。北部ルートがすべて滑らかな道だと思い込まず、舗装・未舗装の区間、キャンプ間の移動計画、休憩できる場所を確認します。

出発前に座席、シートベルト、乗降を試し、適切なクッション、水、ティッシュ、必需品を取り出しやすく置きます。酔い始めたら読書や画面を見るのをやめ、体調に注意しましょう。薬は事前に医師や薬剤師へ相談します。

1) 不快感は早めに伝え、安全な停車と休息を相談します。支払い済みだからといって痛みを我慢しないでください。
2) 長い移動が合わなければ、宿替えを減らすか、送迎と荷物の扱いも含めて1区間をフライトに替えることを検討します。
3) 活動を短縮した場合は、後の宿やルートの変更を明確にして記録します。予定外の夜間運転で遅れを取り戻そうとしないでください。

11. 預け荷物が届かなかったら、どうすればよいですか？

荷物受取区域を出る前に、航空会社か地上業務の担当会社へ未着を届け、照会番号を受け取ります。荷物タグと届出書類を保管しましょう。すぐ出発するホテルだけでなく、連絡が取れる連絡先と今後の宿を伝えます。

運営会社にも知らせ、受け取り、その先への配送、更新情報を誰が調整するか確認します。移動する旅程に車が自動的に追いついて届けてくれると思い込まないでください。

1) 最初から、不可欠な薬、書類、眼鏡、充電用品、必要な着替え1組を手元に持ちます。
2) 必需品を買う前に、航空会社と保険会社へ手続き、限度額、証拠を尋ね、明細付き領収書を保管します。払い戻しは保証されません。
3) 保険選びでは荷物の遅延と紛失を分け、フライトの欠航、遅延、旅行中断の条件と待機期間も個別に確認します。「旅行補償」という表示だけでは、すべての対象範囲は分かりません。
4) 届出番号で追跡を続け、宿を変えるときは実際の配送担当者に新しい住所を伝えます。

12. ケニアを訪れた後、タンザニアのビザを取り直す必要がありますか？

入国管理当局は、Ordinaryビザ所持者がタンザニアへ入国後、東アフリカの国を訪れ、有効期間内に同じビザで戻ることを明示的に認めています。そのため、タンザニア–ケニア–タンザニアの旅程で、2枚目のOrdinaryビザが必須と自動的に説明するべきではありません。元のビザと入出国記録を保管し、許可された滞在期間内に戻りましょう。東アフリカ以外への旅行後も無制限に再入国できるという約束ではありません。タンザニアへの出入りを何度も行うなら、国境を越える日付と目的地を当局へ送り、適切な区分と再申請の要否を確認します。東アフリカからの再入国の例外を、ほかの往復旅行に当てはめないでください。

タンザニアはEast Africa Tourist Visaの対象ではありません。このビザはケニア、ルワンダ、ウガンダを対象とし、この3か国を離れると自動的に失効します。タンザニアを加えるなら、タンザニアへの

入国を別途手配し、その後3か国の地域へ戻る際に必要な入国許可も計画します。東アフリカ共同体への加盟と、このビザ制度への参加は同じではありません。

1) 元のビザと許可された滞在期間を各越境日と照合し、入出国記録を保管します。次の国の入国条件は別途確認します。

第7章　服装と持ち物

1. サファリでは、どんな服を着ればよいですか？

着心地がよく、洗いやすく乾きやすい普段着を選びましょう。半袖、長袖、防寒用の上着を重ね、早朝は着込み、日中暖かくなったら脱いで調整します。北部ルートの高地は朝晩かなり冷えることがあるので、南国のビーチ用の服だけにしないでください。

カーキ、ベージュ、薄い灰色、薄い緑が実用的です。できるだけ濃紺と黒を避け、つばの広い帽子、サングラス、日焼け止め、リップクリームを用意します。日没後は長袖、長ズボン、靴下を着用し、表示どおりに虫よけを使います。

各宿泊地域の予報を確認しましょう。高地の朝晩には防寒着、低地と島には日差し・虫対策と軽い雨具を用意します。1つの月平均の気温幅で旅全体の気候を表すことはできません。

1) 普段着：Tシャツ、長袖シャツ、速乾性のズボン、数枚の短パンです。
2) 防寒着：実際の天候に合うセーターやフリース、ジャケットなどの上着です。
3) 着替え：旅行日数と洗濯の利用に合わせた下着、靴下、寝間着です。
4) 履物：履き慣れた歩きやすい靴と、キャンプ用のサンダルや室内履きです。
5) 砂ぼこり・雨対策：スカーフや適切なマスク、軽量の雨具です。
6) 島やプールを利用するなら、宿の設備を確認したうえで水着を持参します。

徒歩サファリと登山の靴は、各活動の担当チームへ別々に確認しましょう。通常のサファリ用の靴は、登山装備の代わりにはなりません。

2. 機内持込手荷物には、何を入れればよいですか？

移動中に使うものや、預け荷物が遅れたときに欠かせないものを入れましょう。書類と予備の現金は分け、紙の写しをすべて原本と同じ場所に入れないようにします。

1) パスポート、ビザ承認通知、航空券、保険、該当する健康証明書、運営会社の旅程です。
2) 自分の薬、必要書類、予備の眼鏡など必要な視力補助用品です。
3) 携帯電話、充電器、航空会社の規則に従って持ち込むモバイルバッテリーとリチウム電池です。
4) 日焼け止め、虫よけ、ティッシュ、ウェットティッシュ、手指消毒剤、少量のトイレットペーパーです。液体は航空会社と保安検査の規則に合わせます。

5) 照明用の小型ヘッドランプや懐中電灯、予備電池です。夜間の付き添いの代わりにはなりません。
6) ボトルや水筒、適量の常温保存できる軽食です。特殊な食品は入国規則を別途確認します。
7) 少額紙幣の現金、決済カード、紙の連絡先です。すべての貴重品が一度に見えないよう分けて保管します。

必要に応じ、歯ブラシ、歯磨き粉、洗面用品、シャワー用サンダルを持参しましょう。どのキャンプにも好みの製品があるとは限りません。

3. カメラと双眼鏡は、どう準備しますか？

動物観察が好きなら、自分用の双眼鏡が役立ちます。持参するか決める前に、車に何台あり、どう共用するか尋ねましょう。カメラ機材が多い場合は、先に小型機の荷物総重量を計算します。

予備のメモリーカード、電池、充電器、繰り返し使える防じん袋を用意します。砂ぼこりの中を走るときはカメラをしまい、ほこりの多い場所で頻繁にレンズを交換しないでください。

1) 毎日、電池残量と保存容量を確認し、電源が使えるときに充電します。
2) 揺れる道では機材を固定します。滑り落ちる座席の端に置かないでください。
3) 撮影中は静かにし、動物へ近づいたり邪魔したりするよう求めず、レンズの望遠を使います。
4) レンズキャップ、携帯電話などが車外に落ちたら、ガイドに対応を頼みます。自分で降りて拾わないでください。
5) 写真を共有する前に、人の個人情報や、公開に配慮が必要な野生動物の位置情報が含まれていないか確認します。

次の撮影機会を待てます。1枚のために安全な距離を縮めないでください。

4. 携帯電話で使う、おすすめのツールはありますか？

野生動物の情報を調べたり、目撃記録を残したりしたいなら、サファリ前にSafariLingoを試してみるとよいでしょう。公式サイトから、自分の端末での利用方法を確認し、使いたい機能を試します。資料にはビッグファイブ、哺乳類、鳥類、爬虫類が含まれています。

公開されている機能の説明には、中国語の野生動物情報、動物の鳴き声、時刻・場所・写真を付けた目撃記録、記録を振り返る地図があります。使いたい内容に慣れておき、毎日の動物観察後に記録を整理しましょう。

1) 出発前：中国語が読める方は中国語の動物紹介を読み、ガイドへの質問をメモします。そうでない方は、使いたい目撃記録の機能を準備します。
2) 観察後：その日の動物、時刻、場所、写真を整理し、数日分の目撃を区別できるようにします。
3) 帰宅後：未整理の写真をためたままにせず、目撃記録と写真で旅行の記録をまとめます。
4) 鳴き声はイヤホンで聴くか、キャンプで聴きます。動物を引き寄せるため、野生動物の近くで音を流さないでください。

5) 利用の入口：https://safarilingo.com/en/. 自分の端末で利用できる方法を確認し、先に試しましょう。

旅程、書類、保険、連絡先も携帯電話内に保存しましょう。どのアプリも、ガイドの安全指示の代わりにはなりません。

5. ビニール袋やドローンは持ち込めますか？

タンザニアではプラスチック袋が禁止されています。普通の買い物袋やごみ袋を予備の旅行用袋として入れず、防水・防じん収納には繰り返し使える袋を選びましょう。航空保安用の密封式袋には特定の例外がありますが、あらゆる袋に広げて解釈しないでください。

ドローンは、旅行者がそのまま持ち込んで飛ばせる機材ではありません。非居住者には、民間航空当局の輸入承認、機体と操縦者の登録、運用許可が必要です。タンザニア到着の少なくとも3週間前に申請する手続きが必要で、輸入承認なしの持ち込みは没収につながる場合があります。

民間航空の手続きを終えても、国立公園、保全地域、宿泊施設の許可や、商業撮影の許可は別途必要です。持参して使うと決める前に、該当する書面の許可を得ましょう。

1) 荷造り時に機内持込品と預け荷物を点検し、普通のプラスチック製買い物袋を取り除きます。
2) 特殊用途の包装は、入国当局に具体的な規則を事前確認します。
3) 輸入承認が完了していなければ、旅行会社が「確認済み」と言ってもドローンを持参しないでください。
4) その場所で飛ばす許可がなければ、キャンプ、ビーチ、公園で思いつきで飛ばさないでください。

規則に適合する再利用可能な収納袋は、日常の整理にも登山の防水収納にも使えます。

6. 雨季でも砂ぼこり対策は必要ですか？コンタクトレンズはどうしますか？

雨季を選んだからと防じん用品を省かず、軽い雨具と一緒に持参しましょう。砂ぼこりが上がったら、カメラをしまい、バッグを開けたりレンズを交換したりせず、ガイドの指示に従って窓を閉め、鼻と口を覆います。

コンタクトレンズを使う方は、使い慣れた眼鏡、予備レンズ、ケース、適切なケア用品を持参します。点眼薬は、自分の普段の必要や専門家の助言に合わせます。ほこりの多い車内でレンズを着脱せず、先に手を清潔にしましょう。

1) スカーフや適切なマスク、再利用できる防じん袋を、日中の手荷物の取り出しやすい場所に入れます。
2) 目の不快感は清潔で安全な場所で対処します。痛みや視力の変化があれば速やかに受診し、何度も点眼して受診を先延ばしにしないでください。
3) 軽食と精密機材は分けます。食品で汚れた袋をレンズ保護に使わないでください。

第8章　サファリ中の暮らしと通信

1. 車での動物観察では、何に注意しますか？

出発時の説明で、座席、シートベルト、開閉式の屋根、緊急連絡、許可された停車場所の規則を聞きましょう。移動中は指示どおりに座り、揺れる道で立ったり車内を動いたりしないでください。

休憩、トイレ、背中の不調への対応が必要なら事前に伝えます。砂ぼこりでは必要に応じて鼻と口を覆い、カメラも保護しましょう。写真を急ぐあまり体調を無視しないでください。

1) 動物を誘うために携帯電話や体を車外へ出さないでください。
2) 飲料水を持ち、出発前に昼食とトイレの手配を尋ねます。
3) 速度を上げる、予定外の夜間移動を加える、許可なく道路を離れるよう運転手に頼まないでください。
4) 停車後も、立つ前や屋根を開ける前にガイドの指示を聞きます。
5) 撮影、落とした物の回収、歩行のために降りる前にガイドへ確認します。

他の人が降りていても、自分も降りてよいとは限りません。自分の車とその場所の指示に従いましょう。

tanzaniaplan.com

2. 野生動物は旅行者を襲うことがありますか？

野生動物は危険な場合があります。サファリ車に慣れていても、近づく、触る、餌をやることが許されるわけではありません。草食動物も、脅威を感じると身を守るために反応することがあります。

静かにして距離を保ちましょう。法令と安全上の範囲で、停車位置と観察時間をガイドに決めてもらいます。写真のために振り向かせようと、叫ぶ、車をたたく、動物の鳴き声を流すことはしないでください。

1) 野生動物に触れたり餌をやったりせず、サルや鳥にも食べ物を残さないでください。
2) ガイドや公園職員の明確な許可なしに車を降りないでください。
3) 動物が近づいたら、動き方や位置を変える前にガイドの指示を聞きます。
4) 携帯電話、レンズキャップなどを落としたら、まずガイドに伝えます。
5) クレーターなどでは、指定場所だけで車を降ります。徒歩サファリは、許可された活動として手配する必要があります。

「動物は普通、車を襲わない」という考えだけで、目の前の接近が安全か判断しないでください。

3. 夜、食事場所まで1人で歩いてもよいですか？

到着時に、キャンプ内で移動できる範囲、日没後の外出方法、電話・無線などでスタッフを呼ぶ方法を確認しましょう。野生動物が入ってくる場合があるので、スタッフの指示に従います。

夜に部屋と食事場所の間で付き添いが必要なら、先にスタッフを呼びます。暗い中を1人で横切らないでください。懐中電灯は明かりであって、身を守るものではありません。

1) 到着時に、受付や安全担当スタッフへの連絡方法を確かめます。
2) テントや部屋の外で動物の音がしたらスタッフへ連絡し、近くで見ようと外へ出ないでください。
3) 子どもは常に見守り、部屋の外へ1人で行かせないでください。
4) 外出時は施錠し、食べ物はキャンプの指示どおり保管します。
5) 早朝出発の場合は、車までどう付き添ってもらうか事前に尋ねます。

すべての部屋に無線があるとは限りません。実際に使える呼出方法を確認しましょう。

4. 徒歩サファリ、気球、夜間観察には、いつでも参加できますか？

事前予約し、場所、許可、年齢、送迎、費用を確認しましょう。車による日中の観察が許可されていても、同じ場所で自由に歩いたり夜間観察したりできるとは限りません。

セレンゲティではガイド付きの歩行と日の出時の気球飛行が可能ですが、認可された提供会社で手配する必要があります。ンゴロンゴロ保全地域の許可された徒歩活動には、武装レンジャーが必要です。夜間の車による観察は、その場の思いつきで運転手に頼まず、具体的な公園とキャンプについて確認しましょう。

tanzaniaplan.com

1) 営業担当者の一覧に名前があるだけでなく、活動を実施する会社と適用される許可を確認します。
2) 気球は、天候による中止、送迎距離、体力・年齢条件、返金・振替条件を確認します。
3) 徒歩活動は、地形、距離、靴、レンジャーやガイドの手配を確認します。
4) 夜間観察は、許可地域、担当者、帰着時刻、追加料金を確認します。
5) 活動の事務管理料は、商品全体の価格ではありません。追加の交通費やサービス料を確認します。

体調や天候が合わなければ、延期や中止を受け入れましょう。支払い済みでも、危険を押して参加する理由にはなりません。

5. ロッジやキャンプでは、1日中電気を使えますか？

電源の仕組みは施設ごとに異なるので、予約時と到着時に確認します。部屋にコンセントがあっても終日使えるとは限らず、ドライヤーなど消費電力の大きい機器は使えない場合があります。

タンザニアは230V・50Hzで、Dタイプ（丸いピン3本）と英国式のGタイプ（長方形のピン3本）のコンセントを使います。自分の機器のプラグとこれらの形状に合う変換プラグを用意し、各施設に写真を求めて、部屋と共用場所の実際のコンセントを確認しましょう。

購入前に、機器のプラグと電源表示を撮影します。入力範囲に230Vが含まれ、50Hzに対応していれば、形状に合う変換プラグを選びます。変換プラグは電圧も周波数も変えません。110/120V専用の機

器は、変換プラグだけでは接続できません。旅行前に差し込みの適合を試し、消費電力の大きい機器は使用前に施設へ確認します。

1) 部屋と共用場所で充電できる時間と、カメラ電池をまとめて充電できるか尋ねます。
2) 医療機器、冷蔵薬、夜間の連続電源の要件を確認します。
3) 電源が使える間に充電し、予備電池は航空会社の規則に従って持参します。
4) ドライヤー、電気ヒーターなどを使う前にスタッフへ確認します。
5) 連続電源が必要な仕事や医療上の対応は、到着まで伝えずに待たないでください。

電源の確保が必須なら、予約前に実際の施設から回答を得ましょう。

6. サファリ中、携帯電話やWi-Fiは使えますか？

携帯電波とWi-Fiは場所によって異なります。キャンプの食事場所でネットが使えても、部屋や当日のルートで使えるとは限りません。実際の宿に、通信範囲、料金、制限を事前に尋ねましょう。

重要な情報は携帯電話内に保存し、連絡先は紙でも持ちます。旅行前に家族と連絡の予定を決め、遠隔地ではすぐ返事ができないことを説明しましょう。

1) パスポートの予備、ビザ、保険、毎日の宿と送迎情報を保存し、ネットなしで開けるか試します。
2) 出発前に、ローミングや選んだ通信方法、料金、端末の対応を確認します。
3) 遠隔で仕事をする場合は具体的な通信状況を尋ね、「Wi-Fiあり」だけで会議を予定しないでください。
4) 連絡が取れない場合、家族がまず誰に連絡するか決め、運営会社とキャンプの番号を渡します。
5) 渡航書類はパスワードなどで保護します。全情報が載った書類写真を公開グループへ送らないでください。

つながらないときは、まず保存した情報を使いましょう。安全上の懸念がある場所で、電波を探すために1人でグループを離れないでください。

7. 公園内のごみや喫煙は、どうすればよいですか？

ごみは車や指定の回収場所へ持ち帰り、ガイドとキャンプの指示に従って捨てましょう。平原、ピクニック場所、道路脇に残さず、動物のために食べ残しを置くこともしないでください。

喫煙前にガイドや宿のスタッフへ確認し、認められた場所だけを使います。同乗者に影響するサファリ車内で吸ったり、許可なくテントや部屋で吸ったりしないでください。

食べ残しも回収します。野生動物に、人が来ると餌があると覚えさせ、車やテーブルに近づいてねだるようにしないためです。

1) 昼食後は、食品容器、ティッシュ、包装、ボトルのふたを確認します。
2) 吸い殻は指定容器に入れ、道路脇や草の上に捨てないでください。

3) 動物、植物、石を土産として採取しないでください。
4) 買い物の包装も、現地の回収方法に従って処分します。

子どもにもピクニック場所の確認を手伝ってもらいましょう。片付けを毎日の習慣にします。

8. キャンプを移る旅で、洗面や洗濯はどう管理しますか？

到着時に、温水の利用時間、専用・共用の洗い場、洗濯の回収と返却時刻を確認します。翌日移動するなら、間に合うと確認できるまで洗濯に出さず、まず翌日の服を取り分けましょう。

必要に応じ、自分の歯ブラシ、歯磨き粉、洗面用品、シャワー用サンダル、小さなタオル、ティッシュ、ウェットティッシュ、手指清潔用品、身の回りの衛生用品を持参します。自分で洗濯できる場所と水の供給方法を尋ね、自然の川や水路では洗わないでください。

1) 洗濯前にポケットを空にし、点数と返却の約束を記録します。下着を受け付けるかは別途確認します。
2) 濡れた服と乾いた服を分けます。湿ったものは何日も袋に密閉せず、設備があるときに乾かします。
3) 登山では携帯用の手指清潔用品、ウェットティッシュ、必要なトイレットペーパーを日中のザックにも入れ、使用済みは指定の処分場所へ持って行きます。

tanzaniaplan.com

9. サファリの1日の食事、休憩、トイレは、どう組み立てますか？

「出発準備、観察、昼食と休息、午後の観察、帰着」を基本にし、すべての公園に同じ時刻表を当てはめないようにしましょう。移動や川渡りを待つ日は、水分補給と休憩を削るのではなく、ほかの活動を減らします。

1) 前夜：出発、朝食か弁当か、終日外出するか、許可された休憩場所、帰着計画を確認します。服と電池を準備します。
2) 乗車前：トイレを済ませ、水、昼食、薬、防寒着、日差し・虫対策、ティッシュ、トイレットペーパーを確認します。
3) 移動中：休憩の必要は早めに伝えます。指定・許可された場所を使い、1人で降りたり、トイレが遠いからと水分を減らしたりしないでください。
4) 昼食時：認められた場所で休み、手を清潔にします。食べ残しと包装を集め、動物用に残さないでください。
5) キャンプに戻ったら：夜間の付き添い規則に従い、電源が使える間に充電します。写真やSafariLingoの目撃記録を整理し、翌日の持ち物を準備して休みます。

10. 故障、宿の変更、ルートの閉塞が起きたら、どうしますか？

費用や契約を解決する前に、人の安全とその夜の宿を確保しましょう。「何とか手配します」だけで済ませず、合意内容、実施できなかったこと、受け入れられる代案、追加料金を分けて確認します。

1) 故障：ガイドに従って安全に待ち、助けを求めて草原へ歩いて行かないでください。代替車、連絡更新、活動調整の詳細を確認します。
2) 宿の代替：新しいキャンプの正式名称、地域、部屋タイプ、食事条件、追加移動を求めます。星の数だけでなく契約と照合します。
3) 道路閉塞・滑走路使用不可：安全な迂回と追加宿泊の選択肢を確認し、後の便と迎えを変更します。危険な夜間移動で予定を守ろうとしないでください。
4) 食事対応、薬の冷蔵、医療用電源が不十分な場合：具体的な問題をすぐ伝え、必要なら医療を受けます。旅行後に苦情を言うまで待たないでください。
5) 時刻、連絡先、写真、請求書を保管します。追加購入前に負担者と保険会社の承認を確認し、返金保証を前提にせず、紛争は書面で申し立てます。



タンザニア、セレンゲティ国立公園の雄ライオン。
撮影：Giles Laurent · Wikimedia Commons · CC BY-SA 4.0

第9章　お金・チップ・買い物のマナー

1. シリング、米ドル、クレジットカードのどれを用意しますか？

タンザニア国内の商品・サービスの価格表示と支払いは、原則としてタンザニア・シリングで行う必要があります。これはタンザニア中央銀行が公表する規則で、店の好みだけの問題ではありません。

観光地では米ドルが広く使えるという説明に頼らず、現地の買い物、食事、日常の交通にはシリングの現金を準備しましょう。

旅行者は商業銀行や認可された両替所で外貨を交換でき、銀行カードや電子決済での支払いも引き続き可能です。遠隔地では端末や通信が使えないことがあるので、町でシリングを入手し、妥当な予備現金を用意しましょう。別途認められる外貨取引には独自の規則があり、海外で払う旅行商品が外貨建てでも、現地の店の請求通貨を決める根拠にはなりません。

日常用の現金と予備を分けます。認められた取引や両替用に外貨紙幣を持つなら、状態のよいものを選び、受け取る銀行の条件を確認しましょう。

1) 正規の銀行や認可窓口で両替します。SNSの割安な両替話を避け、領収書を保管します。
2) キャンプや店がカードを扱えるか、手数料、現在の端末稼働状況を確認し、シリングの規則に従って現地決済を手配します。
3) 都市のATMではシリングを引き出せますが、故障や現金切れもあります。銀行内の機械を優先しましょう。
4) 遠隔地の滞在前に妥当な現金を準備し、カードや直前の引き出しだけに頼らないでください。
5) 多額の現金を国境で運ぶ場合は、税関申告の要件を別途確認します。買い物だけのために大金を持参しないでください。

トラベラーズチェックを主な支払い手段にしないでください。支払時点の為替レートと手数料を確認しましょう。

tanzaniaplan.com

2. ガイドや宿のスタッフへのチップは、どう準備しますか？

観光業ではチップが一般的で、サービスと予算に応じて感謝を表せます。出発前に実際の運営会社へ、目安額、1人単位か車1台単位か、通貨、渡す時期を尋ねましょう。

貸切の「車1台・1日当たり」と、混載の「1人・1日当たり」は異なります。ガイド、通訳、別の料理人、キャンプスタッフ、登山チームに同じ金額を当てはめないでください。先に単位を確認し、担当日数と分担人数を計算します。

1) ガイドの目安が車全体か1人分か、担当日数をどう数えるか尋ねます。
2) すでにあるサービス料にチップが含まれるか、追加が推奨されるか確認します。
3) 共通のチップ箱がある宿では、使い方と配分方法を尋ねてから渡し方を決めます。
4) 送迎、荷物運び、独立したサービスは別々に確認し、ガイド分と二重計上しないようにします。
5) 少額紙幣を用意し、同行者と分担・支払方法を決めます。
6) 実際のサービスに応じて調整します。その場で強く求められても、目安が確定した債務になるわけではありません。

毎日渡すか最後に渡すかを事前に決め、同行者が同じ担当者へ二重に渡さないようにしましょう。

3. 現地の人を撮影したり、村を訪ねたりできますか？

人物写真や一緒の写真を撮る前に、本人の許可を求めましょう。料金があれば撮影前に合意します。断られたら受け入れ、望遠レンズで隠し撮りしないでください。

現地の暮らしを知りたいなら、主催者が明確で、地域の同意がある村訪問、コーヒー体験、文化活動を尋ねます。参加前に、料金、所要時間、撮影規則、地域への還元方法を確認しましょう。

1) 人物の撮影前に尋ね、子どもの写真には特に配慮し、同意なしに公開しないでください。
2) 宗教施設の見学・撮影規則を尋ねます。
3) 軍事施設は撮影しないでください。空港、橋、公共建築もすべて観光対象と考えず、撮影前に確認します。
4) 文化訪問で思いつきで私有の庭へ入ったり、許可なく学校や子どもを訪ねる活動に加わったりしないでください。
5) 場に合った服装と振る舞いを心がけます。リゾートの水着で町や村へ行かないでください。

現地の人との交流に、一緒の写真は必須ではありません。丁寧な会話と、相手の意思を尊重することも大切です。

4. 土産はどこで買い、何を確認しますか？

アルーシャ、ルート沿いの営業実態が確かな店、宿の売店、空港などで、無理のない買い物時間をガイドに頼みましょう。木彫り、仮面、石彫、編みかご、マサイのビーズ細工、絵画などから好みのものを選べます。

価格、値段交渉を歓迎するか、支払方法、包装を確認します。特定の市場なら必ずカードが使える、値切れないなどと決めつけないでください。購入前に、小型機の残り許容量と帰りの荷物スペースを計算しましょう。

1) 特定の市場へ行くなら、宿やガイドに場所、営業状況、安全な交通を確認してもらいます。
2) 総額と通貨を先に合意し、請求書や領収書を保管します。
3) 壊れやすい物や大きな物の包装を尋ねます。ただし、入国後に普通のプラスチック製買い物袋を予備袋として残さないでください。
4) 骨董品、野生動物由来の製品など規制の可能性がある物は、購入前に合法な由来、輸出要件、次の目的地と自国の持込規則を確認します。
5) 合意済みの主な動物観察の時間を削る買い物立ち寄りは受け入れないでください。

買い物は不要、または短い立ち寄り1回だけでよいと、ガイドへ伝えて構いません。

5. タンザナイトを買うとき、何を確認しますか？

購入予定なら先に予算の上限を決め、信頼できる販売者、石と処理の説明、宝石鑑別書、請求書、輸出書類を重視しましょう。

希少性や産地についての売り文句から直接価値を判断しないでください。高額な購入では、十分な情報を入手して比較してから決めます。旅行の時間が限られていても、急ぐ理由にはなりません。

1) 重量、寸法、色の説明、処理の有無、鑑別書が具体的にどの石を指すか確認します。
2) 返品・交換条件を尋ね、請求書の販売店と決済先が一致するか確認します。
3) 旅行・購入前に、次の目的地と自国の輸出、申告、輸入規則を確認します。
4) 自分で品質を判断できなければ、購入を見送りましょう。ガイドの推薦は宝石鑑定ではありません。

日常的な土産と高価な宝石では、判断が異なります。どちらも衝動買いでよいと考えないでください。

6. 役割ごとのチップを、重複せず合計するにはどうしますか？

役割、目安額、通貨、単位、スタッフ数や部屋・荷物数、日数や回数、支払い済みかを一覧にします。金額はサービスと予算に合わせて選びます。以下は計算方法の説明で、どこでも使えるチップ表ではありません。

1) 車1台・1日当たり：金額 × 実際の担当日数が車全体の額で、合意した人たちで分担します。旅行者1人・1日当たり：金額 × 旅行者数 × 担当日数です。
2) 宿のチップが1室・1泊当たりなら、部屋数と泊数を掛けます。荷物運びが1個当たりなら実際の個数、送迎が1台・1回当たりなら車両数と回数を掛けます。使う前に単位を確認します。
3) 現地の徒歩・文化ガイドは別に一覧にし、活動料やサービス料にチップが含まれるか確認します。
4) 登山の目安がスタッフ1人・1日当たりなら、各役割の額に人数と担当日数を掛け、ガイド、補助員、料理人、ポーター分を合計します。チーム全体の額を、さらに人数倍しないでください。
5) 補助員がガイド分に含まれるか、同じ人がサファリと送迎の両方を担当するか確認します。
6) 同行者1人が共通のチップを記録し、毎日か旅行の最後かを決めます。実際の宿の共通チップ箱の配分方法を確認します。

第10章　ザンジバルを旅程に加える

1. サファリ後のザンジバルには、何泊するとよいですか？

追加で3〜5泊を検討しましょう。ストーンタウンで1泊、ビーチで2〜4泊、または荷造りを減らして休むために1つの宿に滞在できます。到着とホテルへの移動時間も見込みます。フライトの日は丸1日のビーチ滞在ではありません。

国際線の便が合えば、北部ルートへ戻らずザンジバル（ZNZ）から出国する方法も調べましょう。最後の数泊の宿を決める前に、実際の便と航空券の条件を確認します。

1) 島の泊数とサファリの泊数は別々に数えます。
2) 出発する空港、途中の立ち寄り、到着時の迎えの担当者を確認します。
3) 島の宿、食事、送迎、活動、該当する保険は別に見積もります。
4) 帰る前に便の変更を確認し、早朝出発の送迎を前もって手配します。

休息が目的なら、毎日を活動で埋めなくて構いません。1つの宿で過ごすのもよい選択です。

2. ザンジバルのフライトとホテルで、ほかに何を確認しますか？

北部ルートからは、ARK、JRO、公園の滑走路からザンジバルへの便を調べましょう。発券前に、適した便の運航、途中の立ち寄り、荷物許容量を確認します。推定の飛行時間だけで接続を計画しないでください。

ビーチホテルの朝食付き、2食付き、すべて込みのプランが具体的に何を含むか確認します。飲み物、活動、空港送迎、特別な食事も確認しましょう。ホテルの「すべて込み」とサファリ商品の内容は同じではありません。

1) 飛行日、実際の航空会社、出発空港または滑走路、荷物総許容量を明記します。
2) キャンプから滑走路への移動と、ザンジバル空港からの送迎の両方が含まれるか確認します。
3) 部屋タイプ、食事条件、滞在日、支払い・キャンセル条件をホテルに確認します。
4) 同じ旅で本土とザンジバルを訪れる場合は、全旅程について保険証明書が使える場所と補償日を確認します。
5) 水上・水中の活動は、提供会社、安全対策、個人の保険を別途確認します。

実際の滞在時の情報で、設備と立地を判断しましょう。昔のビーチ写真は、ホテルの現在の状態を示しません。

3. ザンジバルの町とビーチでは、どう装い、振る舞えばよいですか？

ストーンタウン、村、リゾート外では、男女とも肩と膝を覆う服装が勧められます。水着は適切なビーチやリゾート施設に限り、町へ行くときは上から服を着ましょう。

宗教施設へ入る前に規則を尋ね、人物の撮影前に同意を得ます。夜の1人歩きは引き続き避け、外出には信頼できる手配の車を使いましょう。

1) 町歩きには肩を覆う上着と、膝丈以上のボトムスを用意します。
2) 文化訪問前に、服装、撮影、料金を尋ねます。
3) ビーチに水着、貴重品、カメラを放置しないでください。
4) 島でも蚊対策、日差し対策、水分補給を続けます。

5) 水に入る前や活動参加前に、その日の状況と安全条件を確認します。写真だけで判断しないでください。

町歩き用とリゾート用の服を分けて準備すると、どちらも動きやすくなります。



タンザニア、ザンジバルのストーンタウンにあるケニヤッタ通りの街並み。

撮影：Timothy A. Gonsalves · Wikimedia Commons · CC BY-SA 4.0



タンザニア、ザンジバル東海岸のビーチとヤシ。2006年に撮影された過去の写真です。

撮影：Bakersville · Wikimedia Commons · CC BY-SA 4.0

tanzaniaplan.com

第11章　キリマンジャロ登山



タンザニア、森林の上にそびえるキリマンジャロ山のキボ峰。過去に撮影された写真です。

撮影：Chris 73 · Wikimedia Commons · CC BY-SA 3.0

1. サファリにキリマンジャロ登山を加えられますか？

キリマンジャロ山の本格的な登山は、ガイドと事前手配が必要な数日間の高所トレッキングで、サファリとは別です。麓の日帰り旅行、遊覧飛行、登頂は異なる活動なので、希望を明確にしましょう。

計画の出発点として、山で7〜9日間に加え、到着後の準備と下山後の回復に約2日をチームと相談します。これは計画の提案であり、登頂を保証する日数ではありません。ルート、健康状態、チームの手配に応じて決めましょう。

1) 日ごとのルート、キャンプや山小屋、高所順応計画、登山口への往復交通を確認します。
2) 契約する会社、実際のチーム、ガイド、救助手配を確認します。
3) 標高、ルート、病歴、薬を医師に伝えます。
4) 下山後に回復時間を設け、できれば同日の長距離国際線に直行するのを避けます。
5) 平原サファリの1日料金を使わず、登山予算を別に立てます。

最短ルートや宣伝の登頂成功率を、健康評価や高所順応計画の代わりにしないでください。

2. 体力と救助の準備は、どう進めればよいですか？

事前に医師に健康と薬を評価してもらい、自分に合う長めの歩行で徐々に準備しましょう。体力があっても高山病にはなり得ます。

tanzaniaplan.com

毎日の健康確認、症状の報告、下山判断、酸素、救助の仕組みをチームに尋ねます。体調が悪化したら速やかに報告し、その日の登頂を目指して無理に進まないでください。

1) 健康を誰が確認し、どう救助へ連絡し、陸上輸送と搬送が手配されているか確認します。
2) 個人の保険会社に実際の標高と活動を伝えます。捜索救助、ヘリコプター救助、輸送、治療、自国への送還を別々に確認します。
3) 保険の支援番号とチームの緊急番号を保存し、承認と支払いの手順を尋ねます。
4) 高山病などの予防薬は医師に判断してもらい、他人の用量をまねないでください。
5) 同行者の誰が体調報告を手伝うか決めます。最後まで症状を隠さないでください。

ガイドと保険会社の両方の救助手配を具体的に尋ねましょう。「酸素あり」「搬送込み」だけでは不十分です。

3. 登山には、どんな服装と装備が必要ですか？

平原サファリとは別に、防水、防寒、重ね着を準備します。ルート、季節、キャンプの標高に合う装備一覧をチームからもらい、持参・レンタルする物を確認しましょう。

レンタル品のサイズ、清潔さ、防寒性能、在庫を事前に確認し、到着後に適した物が見つかると当てにしないでください。寝袋の温度表示は、具体的なルートとチームの要件に合わせて選びます。

1) 衣類：速乾性の半袖・長袖、登山用ズボン、上下の保温用肌着、フリース、適切な脚の防寒着、ダウンジャケットです。
2) 風雨対策：防水の上着とズボン、暖かい防水手袋、耳を覆う防寒帽です。低所で短パンを使えるかは天候次第です。
3) 履物：履き慣らした防水登山靴、暖かい登山用靴下、予備の柔らかい靴底のキャンプ用靴です。必要に応じてゲイターと膝用サポーターを用意します。
4) 睡眠と照明：適切な温度表示の寝袋、必要ならインナー、ヘッドランプ、予備電池です。
5) 歩行と水：体を支える背負いシステムのある日中用ザック、登山用ポール、水の容器、チームが指定する凍結防止対策です。
6) 個人用品：サングラスや適切な雪上の目の保護具、日焼け止め、リップクリーム、洗面用品、小さなタオル、自分の薬、基本的な救急用品です。
7) 収納と軽食：規則に合う再利用可能な防水袋、適量の常温保存できる高エネルギーの軽食です。
8) 登山用の日よけ帽子も入れます。耳を覆う防寒帽は日中の日よけの代わりにはなりません。携帯用の手指清潔用品、ウェットティッシュ、必要なトイレットペーパーは日中のザックに入れます。

tanzaniaplan.com

自分も装備も濡らさないことが重要です。靴と服は登り始めてからではなく、旅行前に試しましょう。

4. 登山の荷物、食事、チップはどう手配しますか？

自分のザック、チームが運ぶ荷物、航空会社の総手荷物には、それぞれ異なる制限があります。登山会社へ適用される荷重制限、詰め方、スタッフ配置を尋ねましょう。航空会社の許容量は、ポーターの運搬上限ではありません。

山の食事、水の処理、テントや山小屋、料理人、装備運搬、送迎、救助の費用を別々に確認します。サファリガイドの金額を流用せず、実際の人数と役割に応じてチップを事前相談しましょう。

チーム選びではスタッフの待遇も確認します。適用荷重、防寒・防水装備、食事、休息、緊急支援を調べましょう。旅行者のチップは、基本的な労働条件の代わりであってはなりません。

1) 自分のザックには、その日の衣類、水、薬、カメラ、個人用品だけを入れます。
2) チームに渡すバッグの重量、素材、寸法、防水方法を尋ねます。
3) 余分なサファリ・ビーチ用荷物を預ける前に、場所、料金、受取時刻を確認します。
4) 食事、アレルギー、薬の要望を伝え、実際のチームから回答を得ます。
5) ガイド、補助員、料理人、ポーターの人数を求め、チップの単位と時期を別々に相談します。

6) 下山後の送迎、宿、荷物回収を確認します。自分で場当たり的に長距離移動を手配しないでください。

スポーツ飲料やエナジードリンクは、高所順応、水、休息、医学的判断の代わりにはなりません。高山病予防と考えないでください。

5. 登山用バッグは、どう試し詰めして量りますか？

1日分の防寒着、雨具、水、薬、カメラ、軽食、衛生用品をすべて入れ、脱いだ服を入れる余地を残します。背負って歩き、肩と腰のストラップを調整し、雨具と水を取り出す練習をしましょう。容量はリットル数だけでなく、実際の荷物と背負い心地で選びます。

その日の必需品はチームに渡さず、自分で持ちます。運搬用バッグはチームの重量、素材、サイズ、防水条件に合わせて詰め、自分のザックとは別に量ります。航空会社の総重量は、さらに別の計算です。

1) 寝具と着替えは、規則に合う再利用可能な防水収納で守り、濡れた物と乾いた物を分けます。
2) 両方のバッグに氏名と連絡先を付け、出発前にチームがどの荷物を受け取ったか確認します。
3) 預けるサファリ・ビーチ用バッグの個数、場所、料金、受取時刻を記録します。書類や薬をすべてそこに預けないでください。

6. 山の状況に合わせ、重ね着、帽子、手袋をどう調整しますか？

平原の天候だけで山の準備をしないでください。低所の歩行、高い場所での滞在、登頂区間を別々に確認します。速乾性の肌着、上下の保温着、防風・防水の外側の衣類を組み合わせ、体が温まったら調整し、止まる前に追加の服を用意しましょう。

自宅で全部を重ねて試し、屈む、足を上げる、手袋でバッグを開ける動作を確認します。フリースの上着だけ用意して脚の防寒を忘れないでください。日よけ帽子と耳を覆う防寒帽は役割が違うので、両方を入れます。

1) 雨具をすぐ出せるようにし、寝具と翌日の乾いた服を別に保護します。雨や汗で肌着をびしょ濡れにしないよう努めます。
2) 雨の多い日程では、雨具を1枚増やすだけでなく、ルート、装備を乾かせる機会、雨天時の変更を比較します。状況が合わなければ迂回や延期を受け入れます。
3) 手袋、帽子、服、靴の適合を事前に確認します。レンタル品は登り始める前に、清潔さ、防寒性、使える状態かを点検します。

7. 登頂日は、飲める状態の水と軽食をどう持ちますか？

出発前に補給場所、その間に必要な水、チームの凍結防止計画を確認し、水を入れた容器で試し詰めします。その日の区間、天候、補給手配に合わせて容量を選びましょう。1日中接触できるとは限らない運搬チームに、水をすべて渡さないでください。

手袋をしたまま容器を開け、飲み、軽食の包装を開ける練習をします。ボトル、給水袋、チューブは、チームの機材別の指示に従って実際の寒さに備え、すぐ使える予備の飲水方法も用意しましょう。

1) 食べ慣れた常温保存できる軽食を選び、空腹時に運搬バッグを探さずに済むよう、取り出しやすいポケットへ小分けにします。
2) 出発前に自分のザックに入っているか確認し、合意した休憩、水分、食事の計画に従います。エナジードリンクはその代わりにはなりません。
3) 症状は速やかに報告します。食べ物と飲み物は、高山病の評価や下山判断の代わりにはなりません。

tanzaniaplan.com

出発前のチェックリスト

出発前に同行者と一緒に確認し、準備ができた項目にチェックを入れましょう。

- [ ] 最も見たい動物や参加したい活動を選び、旅行する月と重点となる宿泊地域を合わせます。
- [ ] タンザニアでの日数、泊数、丸1日車で動物観察できる日を数え、ザンジバルと登山は別に数えます。
- [ ] 運営会社の法人情報、観光事業の営業許可、実際の提供会社、支払いの受取先を確認します。
- [ ] 全キャンプの正式名称、場所、部屋タイプ、食事条件、予約状況を確認します。
- [ ] 宿の変更、代替車、雨天時の迂回、混載の予約不足、フライトの乱れへの対応を契約に明記します。
- [ ] 各費用の計算方法、税込みかどうか、除外項目、支払いと返金の期限を確認します。
- [ ] パスポートの有効期間と空白ページを確認します。ビザが必要なら適切なものを取得し、eVisaでは承認通知をダウンロードします。
- [ ] 帰国・次の目的地への航空券、初日の宿の住所、運営会社の旅程、送迎確認を保存します。
- [ ] ルートと身分・資格に適用される入国保険を手配します。本土とザンジバルを別々に確認し、複数回入国に必要な保険を尋ねます。
- [ ] 個人の保険で、活動、標高、医療、搬送、自国への送還、対象外事項を確認します。
- [ ] 資格のある渡航医療の専門家に、全乗継旅程、宿泊地域、健康情報を伝え、実際の入国先に合う黄熱とマラリア対策を立てます。
- [ ] 出発直前に健康申告とスクリーニングを再確認し、ルート変更後にも確認します。
- [ ] JRO、ARK、DAR、ZNZ、公園の滑走路を確認し、実際の航空会社と送迎を確定します。
- [ ] カメラと機内持込品を含む全荷物を量り、超過荷物と保管を事前手配します。
- [ ] 重ね着、日差し・虫対策、雨具、防じん用品、衛生用品、薬を用意します。D/Gタイプの変換プラグと、機器の230V・50Hzへの対応を確認します。
- [ ] 旅行時の子どもの年齢と、食事・移動・薬の要望を伝え、実際の提供者から回答を得ます。キャンプの電源、通信、洗濯を確認し、重要な情報を携帯電話内に保存します。
- [ ] SafariLingoの公式サイトで利用方法を確認し、使いたい野生動物情報と記録機能を試します。
- [ ] 妥当な額のシリングと予備の支払方法を用意します。チップの単位、通貨、分担を確認します。買い物や文化訪問は、料金、撮影規則、商品の輸出・持込要件を先に調べます。
- [ ] 車を降りる規則、野生動物に餌をやらないこと、夜間の付き添い、子どもの見守り、ごみ、喫煙について、同行者全員が理解しているか確認します。
- [ ] 運営会社、キャンプ、保険会社、緊急サービス、自国の領事支援の連絡先を紙と携帯電話内に保存します。同行者と家族に連絡計画を伝えます。
- [ ] 帰国の国際線前に適切な余裕を設け、下山後の回復時間も確保します。
- [ ] 徒歩サファリ、気球、夜間観察、水上・水中の活動は、提供会社、許可、年齢制限、送迎、キャンセル・振替、保険を確認します。登山はチームの装備、荷重制限、食事、救助手配を別途確認します。
- [ ] 普通のプラスチック製買い物袋とごみ袋を取り除きます。ドローンを持参する場合は、輸入などの民間航空手続きを完了し、使用場所の書面の許可を取得します。